

平成24年度

2回生進級時アンケート

高等教育研究開発推進機構

目 次

はじめに——調査の趣旨と概要.....	1
1 学習意欲などの変化.....	3
1. 1 学習意欲の変化.....	3
1. 2 出席コマ数の変化.....	4
1. 3 授業外学習時間の変化.....	4
2 成績評価への納得度.....	5
2. 1 成績評価全体への納得度.....	5
2. 2 成績評価に納得できない理由.....	6
2. 3 「納得できない理由：その他」の記述内容.....	7
3 「満足した科目」「不満だった科目」.....	8
3. 1 「満足した科目」とその理由.....	8
3. 1. 1 科目群別の集計.....	8
3. 1. 2 「満足した理由」の分析.....	9
3. 1. 3 「満足した理由：その他」の記述内容.....	10
3. 2 「不満だった科目」とその理由.....	13
3. 2. 1 科目群別の集計.....	13
3. 2. 2 「不満だった理由」の分析.....	14
3. 2. 3 「不満だった理由：その他」の記述内容.....	15
4 全学共通科目への期待.....	19
5 期待は実現されたか.....	21
6 今後の全学共通教育への要望.....	22
6. 1 項目別集計.....	22
6. 2 「改善の要望：その他」の記述内容.....	24
7 自由記述.....	27
7. 1 総合人間学部.....	27
7. 2 文学部.....	28
7. 3 教育学部.....	32
7. 4 法学部.....	33
7. 5 経済学部.....	36
7. 6 理学部.....	40
7. 7 医学部.....	44
7. 8 薬学部.....	46
7. 9 工学部.....	47
7. 10 農学部.....	59
【資料】平成24年度2回生進級時アンケート（KULASIS 掲載内容）.....	64

調査の趣旨と概要

対 象：学部新2回生（平成23年入学生対象）全員

調査の目的：学生が入学後1年間の大学生活の中で京都大学の教育に対してどのような感想を抱いたかについて2回生進級時点での意見を聞き、今後の京都大学の教育を改善・充実してゆくための重要な資料とする。

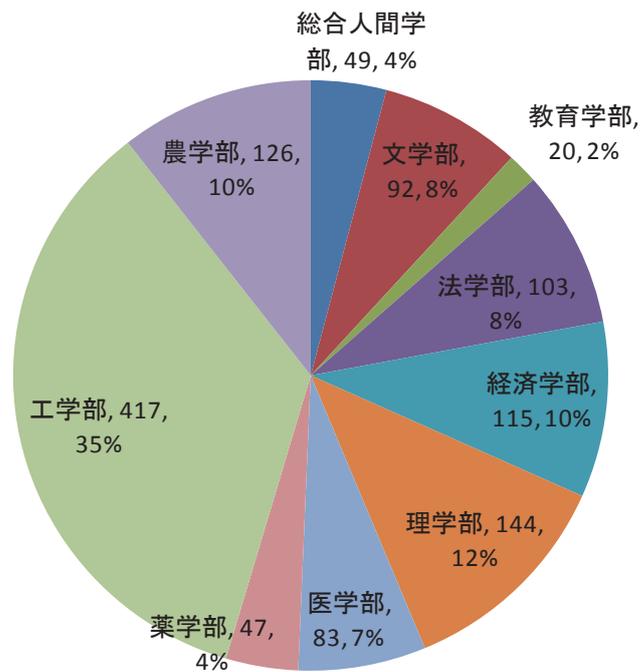
調査の概要：新入生ガイダンスの際、記入してもらった「新入生アンケート」の回答を学生に返却し、自分の入学当時の抱負・期待を読み返しつつ、1年間の全学共通教育を中心とした学習を振り返って、どんなことを感じあるいは考えたかについて率直な意見を表明してもらうよう求めている。

調査方法：KULASIS（全学共通教育教務情報システム）上でのアンケート方式をとっている。
平成24年4月、各学部新2回生が履修登録確認のためKULASISにログインした際、アンケートへの協力願いを掲示し、回答フォームに入力してもらうという方式をとった（アンケート全文は末尾に添付している）。

表 0-1 学部別アンケート提出者数・提出率

学部	在籍者数 (2012/5/1 現在)			提出者数	提出率
	計	男	女		
総合人間学部	130	91	39	49	37.69%
文学部	223	126	97	92	41.26%
教育学部	61	31	30	20	32.79%
法学部	341	259	82	103	30.21%
経済学部	257	213	44	115	44.75%
理学部	314	280	34	144	45.86%
医学部	254	119	135	83	32.68%
薬学部	84	47	37	47	55.95%
工学部	1004	914	90	417	41.53%
農学部	318	210	108	126	39.62%
合計	2,986	2,290	696	1,196	40.05%

図 0-1 学部別アンケート提出者数・構成比



1 学習意欲などの変化

問1 あなたの入学以降の学習についてお尋ねします。入学当初から現在までに、あなたの①学習意欲、②一週間に出席した授業のコマ数、③授業外の学習時間（授業の予復習や学術書・教養書の読書を含む）がどのように変化したかについて、右の「作成例」を参考にして表を完成させてください（学習意欲については、下記の5つから選択して番号を記入してください）。

(学習意欲) 5. 非常に意欲あり 4. まあまあ意欲あり 3. どちらともいえない
2. あまり意欲なし 1. まったく意欲なし

(作成例)

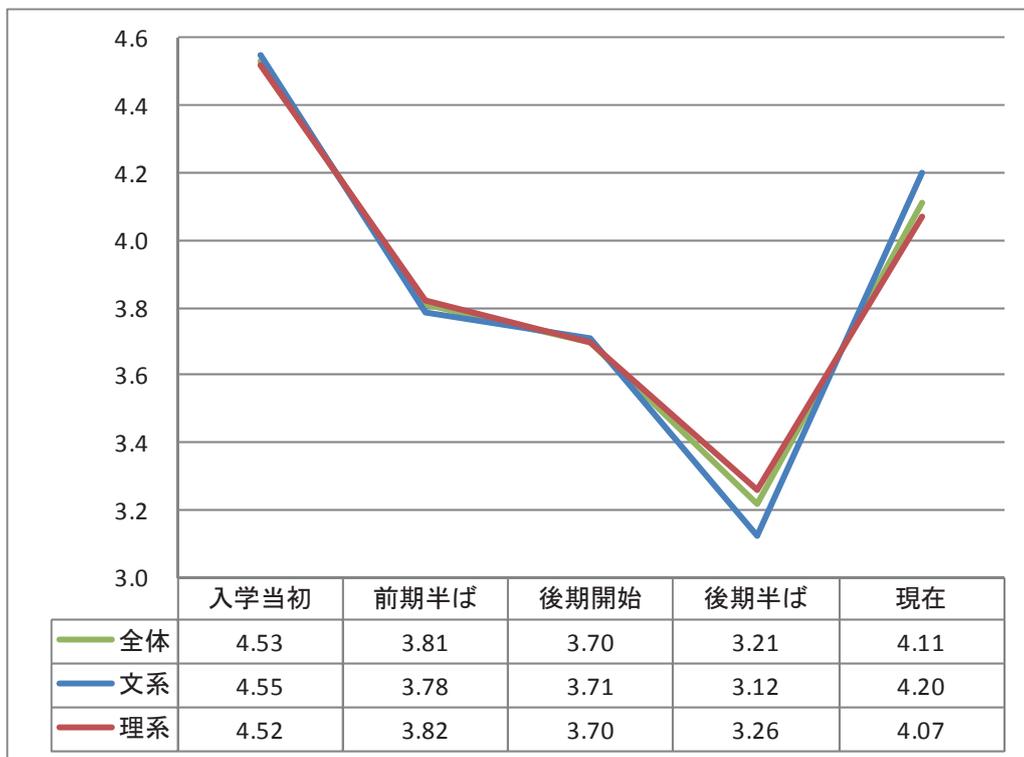
時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日
入学当初		コマ	時間
前期半ば		コマ	時間
後期開始		コマ	時間
後期半ば		コマ	時間
現在		コマ	時間

時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日
入学当初	5	15コマ	1.5時間
前期半ば	4	〃	〃
後期開始	4	4コマ	3時間
後期半ば	4	〃	〃
現在	1	12コマ	

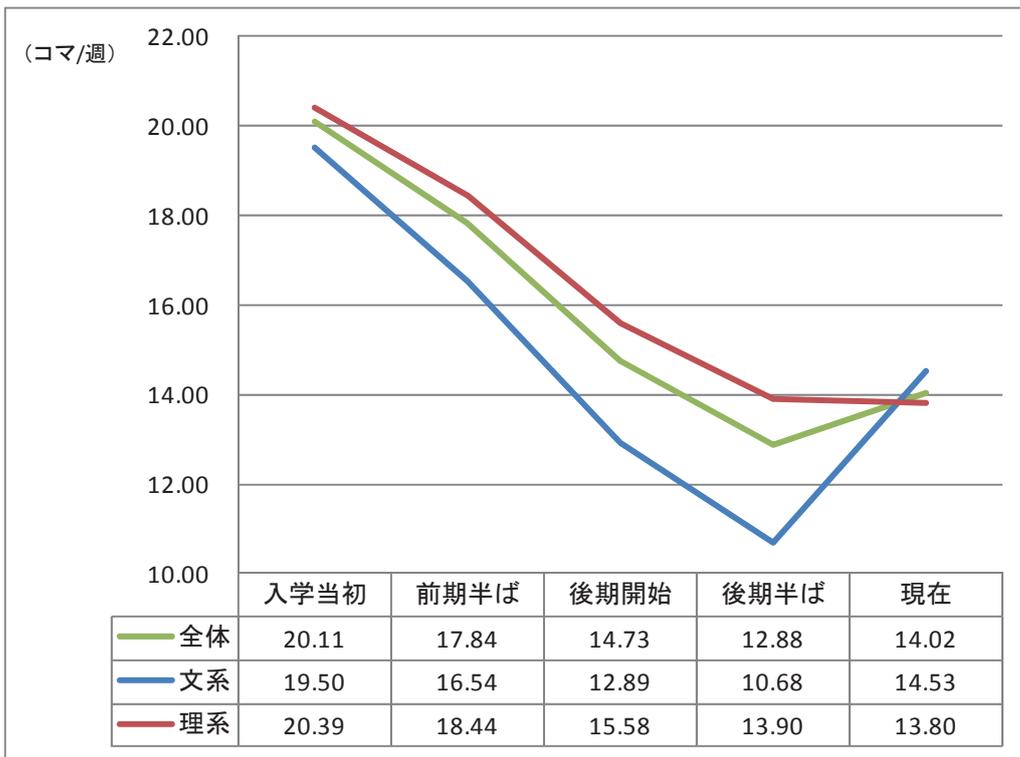
*あまり深く考えず「平均」「おおよそ」でご記入ください

*現在の「授業出席コマ数」は、4月から出席を予定しているコマ数を記入してください

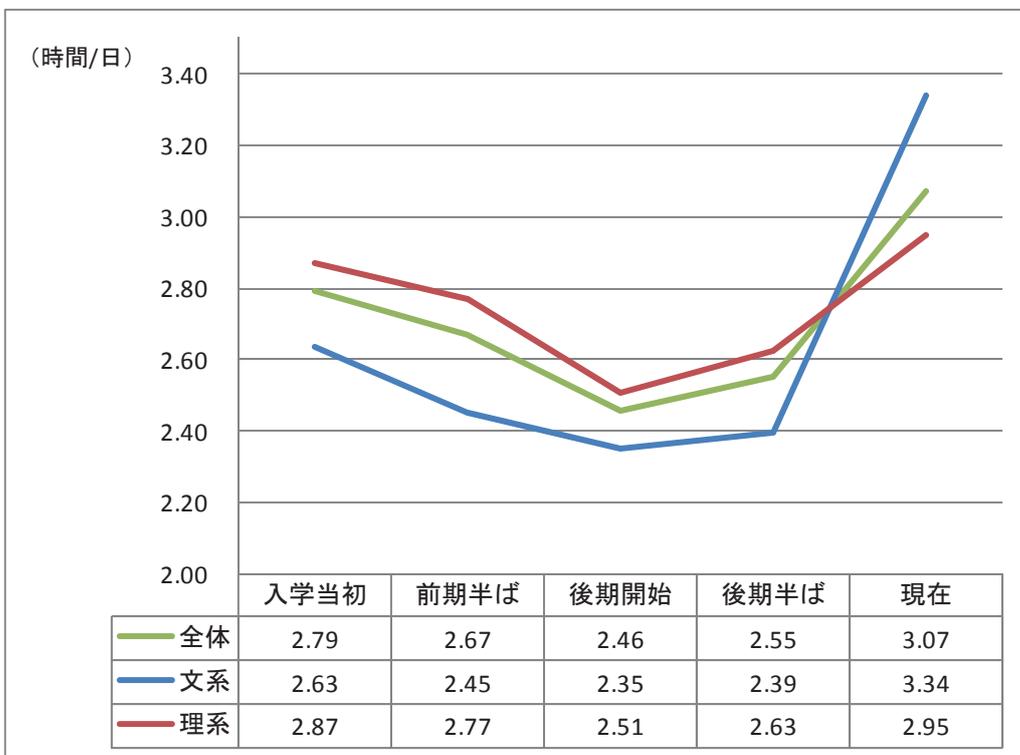
1. 1 学習意欲の変化



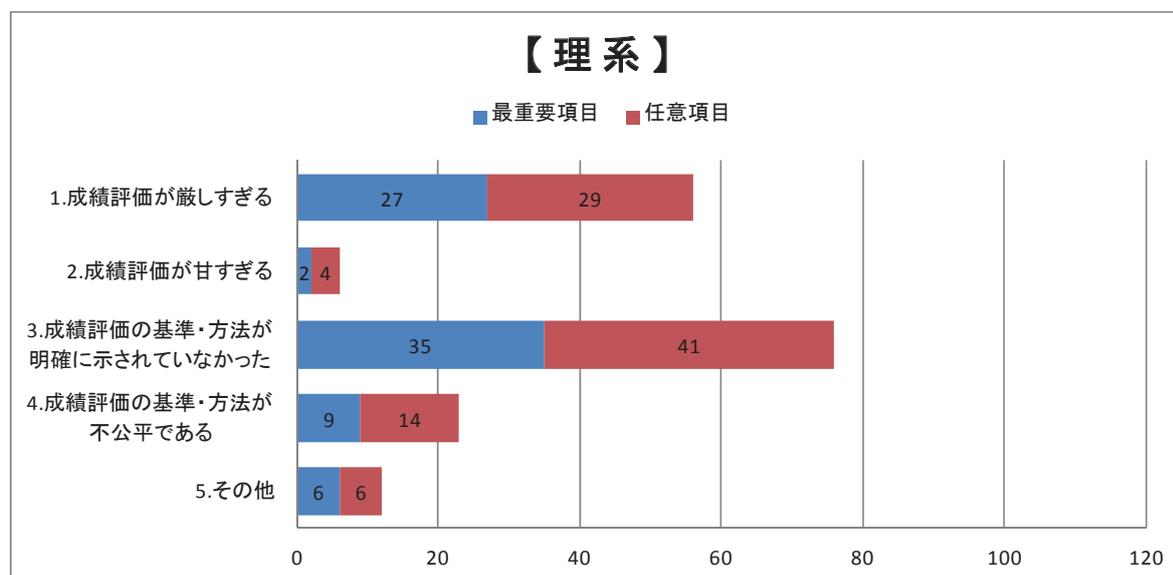
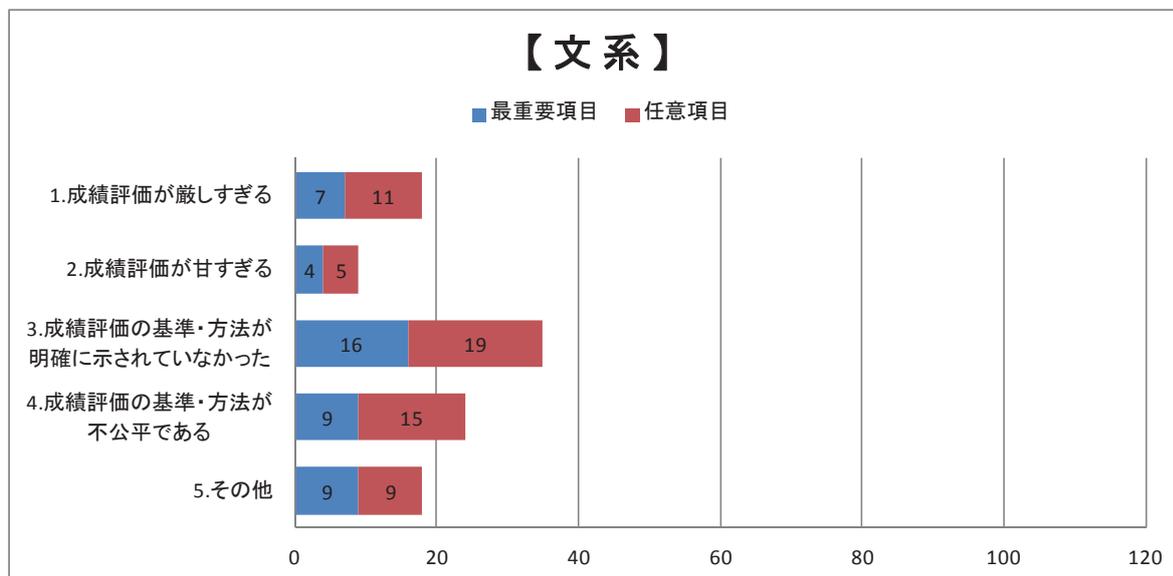
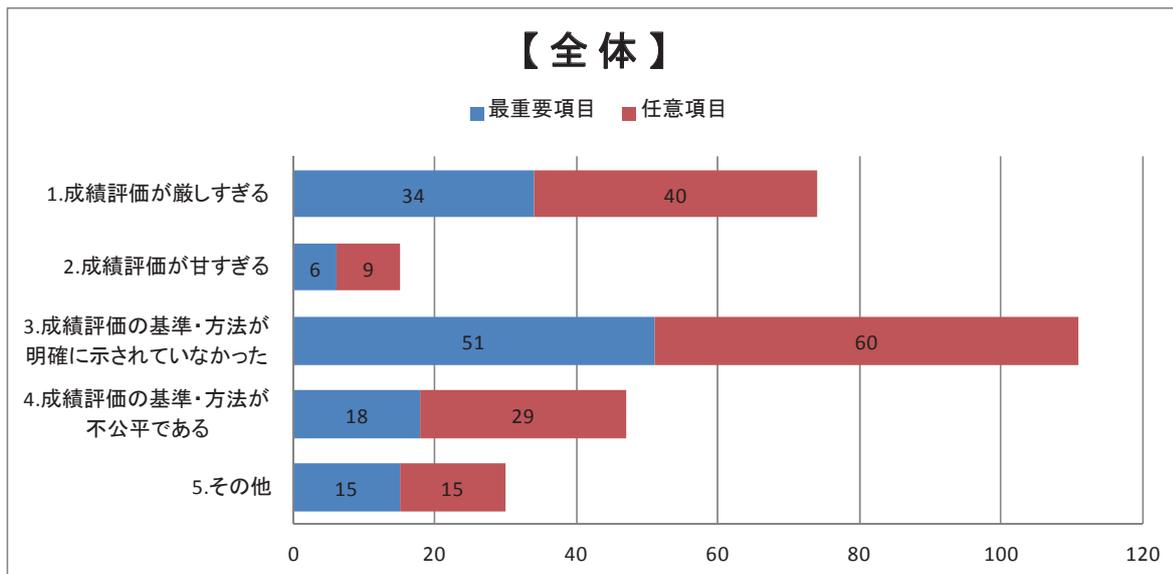
1. 2 出席コマ数の変化



1. 3 授業外学習時間の変化



2. 2 成績評価に納得できない理由



2. 3 「納得できない理由：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。

なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 自分の甘え。【総人・男】
- 高校と同じく得点(勉強強要)主義というのは学問の本質から乖離している。【文・男】
- 勉強した割に成績が芳しくなかった。【文・男】
- 履修登録のチャンスがごく限られており、それを逃すと登録さえ出来ず、最初に意欲があることが保証されていないと、多くの単位が得られないこと。【文・女】
- 授業の最初から難しいことさせられてもテスト解けんがな。【経・男】
- 自分の努力不足。【経・男】
- 単に自分の怠惰に納得できない。【理・男】
- 評価する点の質が低い。【理・男】
- 全学では3段階しか評価がないが、学部成績表には4段階で示されるため。【薬・女】
- サボってしまった。【工・男】
- 単に勉強不足。【工・男】
- 病欠が考慮されなかった。【工・男】

3 「満足した科目」「不満だった科目」

3. 1 「満足した科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A. あなたがとくに満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください（AB群など複数群科目の場合、例えばAとして履修登録した場合はAを選択してください）。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：（自由記述）

登録群：（A・B・C・Dから選択）

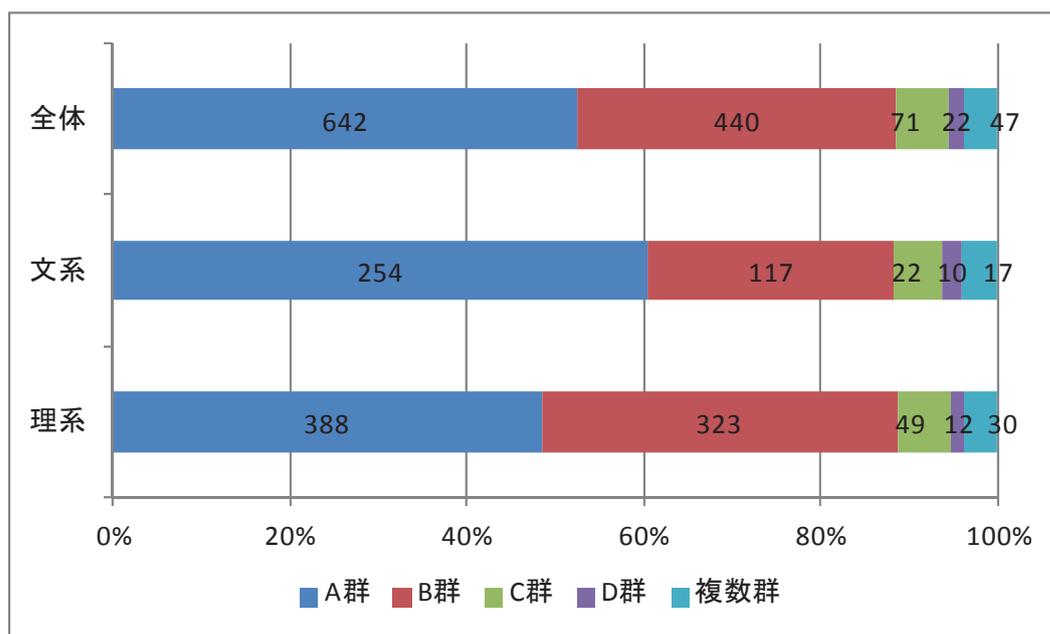
あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他（自由記述）

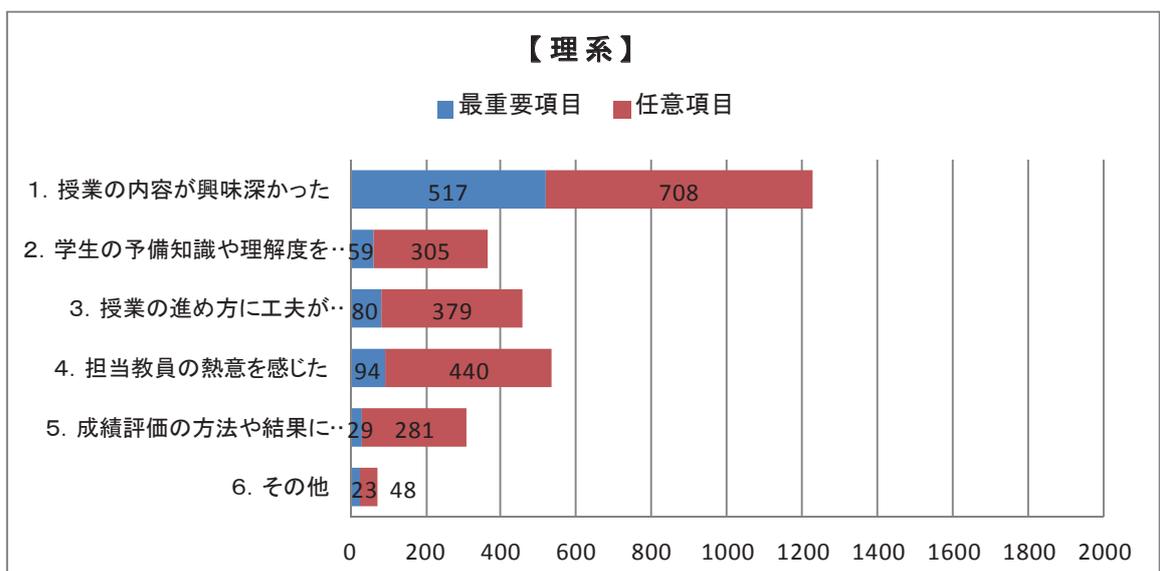
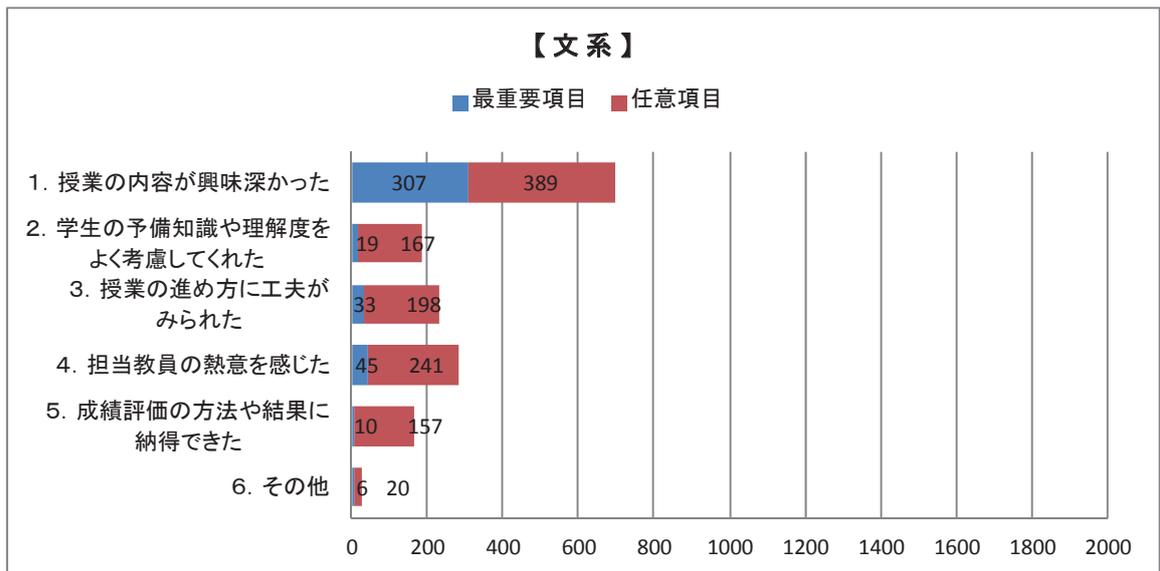
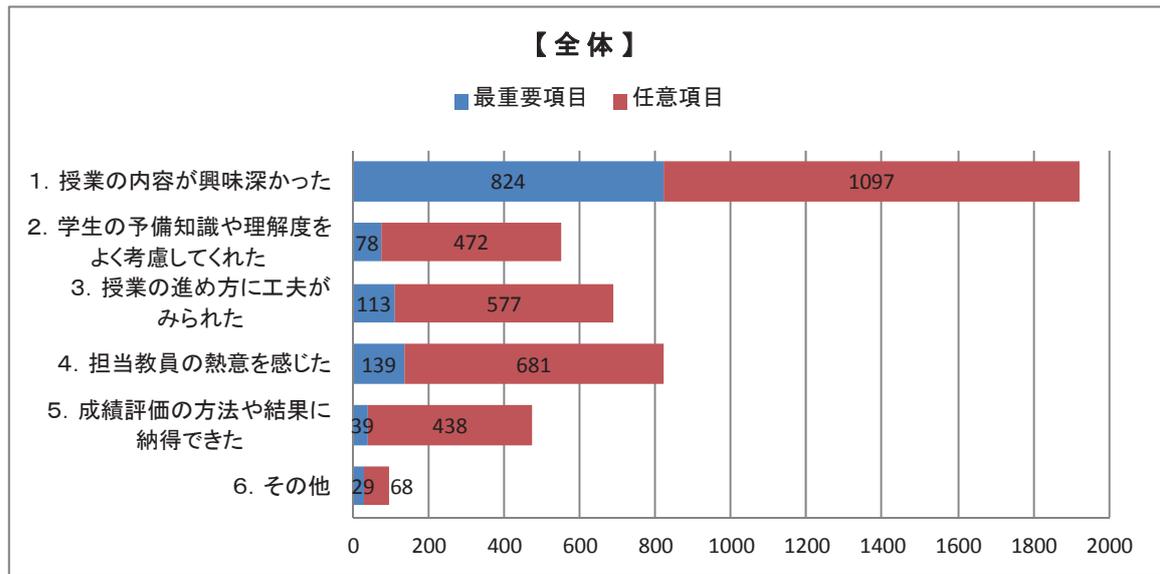
上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）

（以下、科目2、3も同様）

3. 1. 1 科目群別の集計



3. 1. 2 「満足した理由」の分析



3. 1. 3 「満足した理由：その他」の記述内容

「満足した理由」の「6 その他」については、その内容を自由記述方式で尋ねている。以下、A群、B群、C群、およびD群の別に、記述内容を掲載する。

なお、末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

■ A群科目

- ※※教授と※※教授の回が素晴らしかった。とくに※※教授の経済実験は興味深かった。
【総人・男】
- 他の授業ではほとんど行われないグループディスカッションが非常に面白かった。【総人・男】
- 教員の知性に感動した。【総人・女】
- 教員の個性が強烈だった。【総人・女】
- 教員の人格に薫陶を受けた。【総人・女】
- 震災について、多角的に深く考えられた。【総人・女】
- 教員が素晴らしかった。【文・女】
- 歴史資料に触れられ、2回生以降とても役立ちそうだから。【文・男】
- ゼミ入門のような授業の雰囲気良かった。【教・男】
- 板書も解説も丁寧でわかりやすい 試験の対策もしやすい。【教・男】
- 教員がユーモラスで聴講していて楽しかった。【教・男】
- ゼミナール形式を楽しめた。【法・男】
- 先生の話し方が非常にわかりやすく興味をわいて楽しかった。【経・女】
- 実験に参加できた。【理・男】
- 学生の興味を担当教員が理解していた。【理・男】
- 面白い。【理・女】
- 大学での勉強の仕方が身に付いた。【医・男】
- グループワークでグループ内の仲が良くなった。【医・女】
- 授業自体が面白く、出席することが楽しかった。【薬・男】
- 面白かった。【工・男】
- 積極的に、参加できた。【工・男】
- レポート作成の練習になった。【工・男】
- 経験が豊富。【工・男】
- さすが、〇〇（企業名）出身と思ったw 【工・男】
- この上ないくらい説明がわかりやすい！！ 【工・女】
- 留学生とのグループワークが良い経験となった。多くのリーディングアサインメントを課してくれた。【工・女】
- 脇道にそれる話が時々あって、それもまた興味深かった。【工・男】

- しゃべりが、はきはきしていて集中して聞ける。ほかの授業では先生の声が小さすぎたり、先生のしゃべるスピードが速すぎたりで、どうしたって聞き逃してしまうが、この先生は何をさしおいても話し方が上手なので眠くもならないし、授業の進め方に対して気が散ることもなく、純粹に授業内容に集中して聞けた。授業自体もおもしろかったです。【工・男】
- スキルアップに繋がった。【農・男】
- 先生のざっくりした性格に好感が持てたから。【農・男】

■ B群科目

- 教員がよかった。【文・女】
- 今まで考えもつかなかった学問分野・領域を知った。【文・男】
- 最強に楽しかった。これ以上のパンキョーは無いと思った。【経・女】
- 進路について悩みの相談にのってくれた。【経・男】
- 二回生向けの授業。【理・女】
- 先生が優しい方でした。【理・男】
- 学生の興味を引き出すため、授業より進んだトピックについて話してくれた。【理・男】
- 野外実習が興味深かった。【医・男】
- 教員の研究室に訪問できたから。【薬・男】
- 授業内容は難しかったが、鍛えられたと感じたから。【工・女】
- 自分の成績が良かったから。【工・女】
- 非常にわかりやすい授業でした。【工・男】
- 非常に丁寧に説明して下さいました。【工・男】
- 教員と直接深く話せたから。【農・男】
- 具体例がわかりやすかった。【農・男】
- 生徒が3人で、英語での講義であったが、質問もしやすく勉強しやすかったです。【農・女】
- 天敵利用に向けて展望が開けた。【農・男】
- 生物に対する興味をものすごくかきたてられた。TAの人も親切でよかったし、担当教員3人の熱意がとにかく伝わった。【農・男】
- 研究室で学ぶ感覚がつかめた。【農・男】
- お体が大変そうなのに授業をこなされていたから。【農・男】

■ C群科目

- 授業の進め方が自分に合っていた。【文・男】
- 教え方が丁寧で、質問にも丁寧に応じてもらえてやる気がわいた。【経・女】
- 人の魅力。【理・男】
- 先生が美人だから。【医・女】
- ネット教材が使いやすく学習に役立った。【薬・男】

- 中国に関する膨大な雑学を聴いているだけで面白かった。【工・女】
- 雑談が面白かったです。【工・男】
- 受講生は意欲のある学生が多く、また、よい友人を作ることができた。【工・女】
- 和気あいあいとした雰囲気、学びやすかった。【農・女】
- 先生がおもしろくて勉強意欲がわきました。【農・女】

■ D群科目

- 学生同士の交流を重視してくれた。【医・男】
- やはりスポーツする機会は作るべき。2回生以上担当のスポーツ実習でテニスがなくなっていて残念。【工・男】
- 生徒も少なく和気あいあいとしていた。【農・女】

■ A B群科目

- 教授の話の展開の仕方がわかりやすくおもしろくて、非常に楽しかった。【経・女】
- ジュギョウノナイヨウニキョウミブカカタ (カタコト) 【工・女】
- 今後役に立つ知識が得られた。【農・女】
- A・B群としてどちらにでも登録ができるのがよかった。今年からB群オンリーになってしまったようなので、工学部の学生がこの科目を履修することは厳しくなってしまった。今ほとんど文理やそれぞれの学問の垣根を越えて新しい分野を学問することが重要だというふうになってきているのにその流れに逆流しているようで残念。A・B群はあったほうが学生が自主的にのびのびと勉強できるからいいと思います。【工・男】

3. 2 「不満だった科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください（AB群など複数群科目の場合、例えばAとして履修登録した場合はAを選択してください）。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

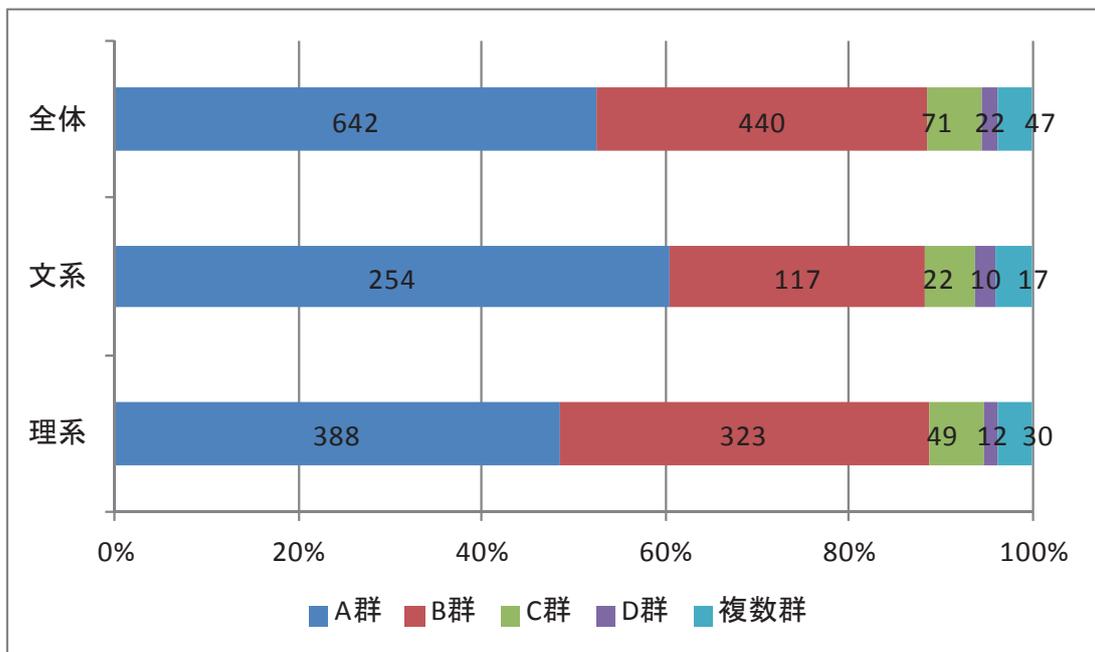
あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他（自由記述）

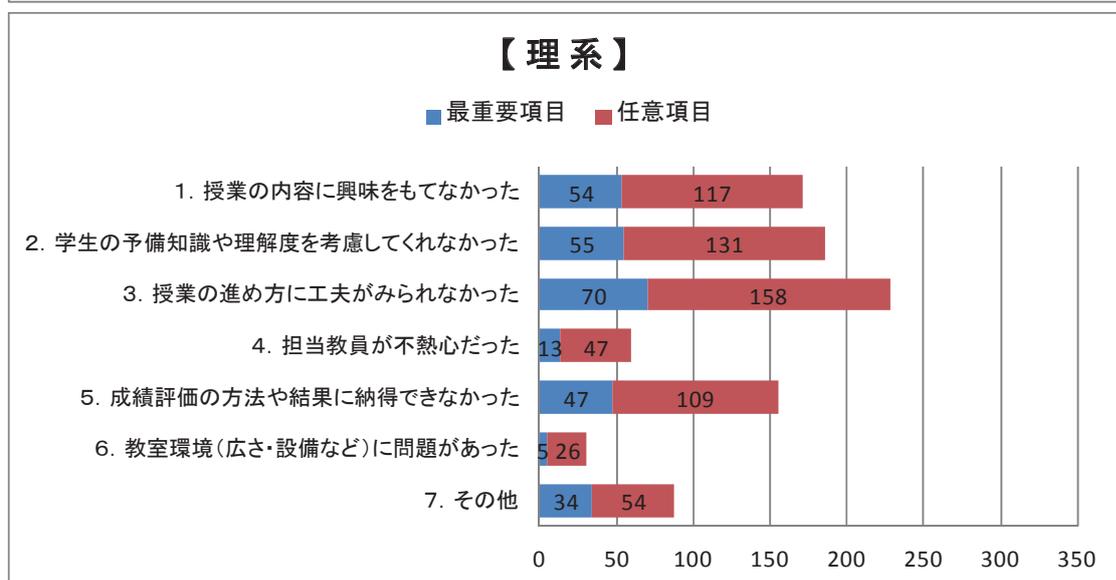
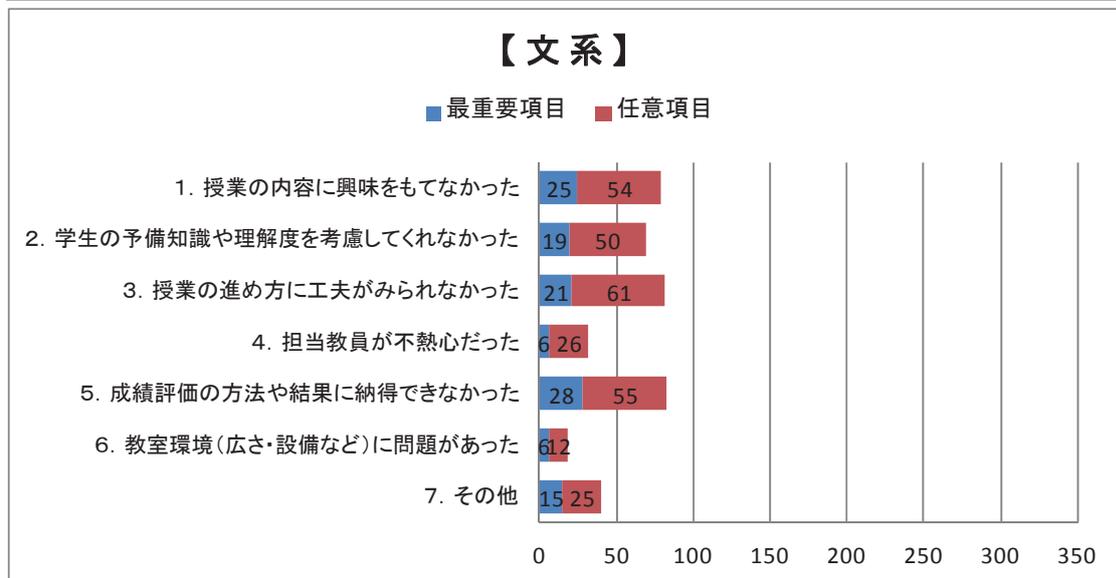
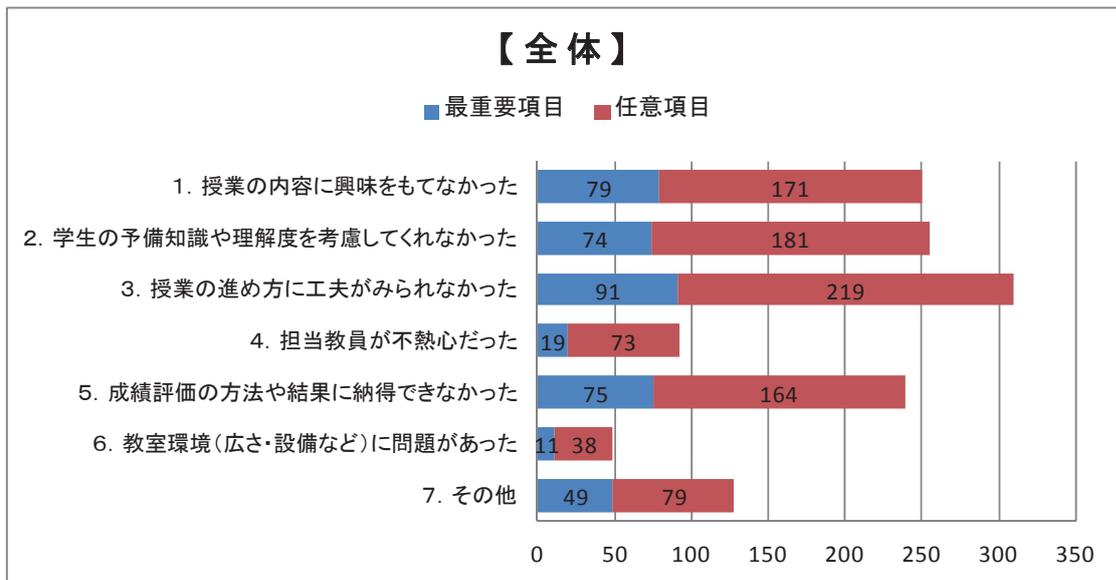
上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）

(以下、科目2、3も同様)

3. 2. 1 科目群別の集計



3. 2. 2 「不満だった科目」の分析



3. 2. 3 「不満だった理由：その他」の記述内容

「不満だった理由」の「7その他」についても、その内容を自由記述方式で尋ねている。以下、A群、B群、C群およびD群の別に、全記述内容を掲載する。

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

■ A群科目

- ※※※※の思想史解釈が恣意的過ぎて話にならない。【総人・女】
- 課題図書が手に入らなかった。【文・男】
- 文系には興味が持てないうえに難しくてレポートが書けなかった。【文・男】
- 説明が聞き取りにくかった。テレビで映しているレジュメと、話している内容にずれがあり、わかりにくかった。【文・男】
- 講師が傲慢だった。【教・男】
- ただの〇〇（企業名）の企業宣伝だった。【法・男】
- 内容が浅い。【法・男】
- 教員の自己満足に学生を付き合い合わせ、自著を買わせる暴挙。【法・男】
- 先生の英語力。【法・男】
- 教員の話が時々政治的に偏向しているよう思われた。【経・男】
- 授業内容が一面的であった。【理・男】
- 内容が具体性に欠ける。【理・男】
- 大変興味深い回が多かったが、ひどく講義の下手な先生がいらっしやっ。【医・男】
- 単位は取れたが、人間健康科学科の卒業に必要な単位に反映されないことを知らなかった。【医・男】
- 声が小さくて聞き取れなかった。【医・女】
- 事件やニュースの解説が多くて講義の内容が期待していたものと違っていた。【薬・男】
- 基礎論とはいえもう少し踏み込んだ授業をしてほしかった。【工・男】
- 結局何をしたかったのかわからなかった。【工・男】
- 他の講義をサボらないと良い成績が取れないような授業形式だった。【工・女】
- 環境問題とはあまり関係のない内容の講義があった。【工・男】
- 企業の宣伝に終始していたように感じた。【工・女】
- テストの時に一人飛ばしに座ったが、前列の空席の後ろに自分の列の人が座る形になった。その上に「カンニングしてんちゃうか。」と言われた。TAを何人も呼んでるなら最初からちゃんと整列させろ。授業もつまらなかったが、これが決定打。【農・男】

■ B群科目

- 文系の生徒を意識していて、レベルが低すぎた。文系の学生向けの授業もあるので、そんなことをする意味が全く理解できない。そのため内容も本質的でなかった。他の教員もいてクラス指定で仕方なくこの授業をとらされているのにこれはおかしいと思う。【総人・男】
- 物理の教授とは思えないほど酷い不備がテストにあった。学生の単位を何だと思っているのだろうか。【総人・男】
- 声が良く聞き取れなかった。【総人・男】
- 遅刻欠席回数について制限が厳しすぎる。各教員により出席確認方法が異なり不明確。早期の段階で単位を諦める生徒多発。【法・男】
- 文系向けの数学の講義でありながら、文系が知らない物理の記号が出てきてついていけないことが多々あった。【法・男】
- 教員がぼそぼそと話しているだけで聞こえにくく、理解できなかった。【経・男】
- 初出の式を説明せずに使いだす。全体的に見ても説明不足。【理・男】
- レポート提出が次回授業の前日で、提出に不便。当日か、1 共に統一して欲しかった。【理・男】
- 講義中であるにもかかわらず、後ろのほうで毎回の講義ですっと無駄話をしている人々にいらだった。【理・男】
- 声が小さいし、内容を生徒が理解しにくい。【理・男】
- ただ勝手にしゃべってるだけでした。【薬・女】
- 学生の私語が多かった。【薬・男】
- テストと授業に関連性が見られなかった。【工・男】
- 授業後の演習問題を返却しないでどうやって勉強すればいいのやら。スライドショーはやめたほうがいい。【工・男】
- 数学の教員免許取得のために必須なので履修したが、授業が非常にわかりづらく、自主学習に苦戦した。【工・女】
- 講師が自分 1 人の世界で授業を進めている感じ。あと線形全般だが、黒板の文字が読めない。【工・男】
- 計算ミスをしたら単位がないという評価方法が納得いかない。【工・男】
- 教授の話し方が早くて聞き取れず、板書も汚く、プリントも字が汚い。つまり、情報を得る手段がない。【工・男】
- 勉強がしにくかった。【工・男】
- 声が小さく、内容に一貫性がなかった。【工・男】
- 担当教員の声が小さく、小さい教室であるにもかかわらず、後ろの方に座ると全く聞こえない。【工・男】
- 声が小さく、内容に一貫性がなかった。【工・男】

●まるで担当教員が黒板と対話しているようであり、学生のことに関心を払っていない。

【工・男】

●授業進度が速すぎ、かつ内容がとても難しくて全くついていけなかった。【工・女】

●機械に不備が多い。【工・男】

●話がわかりづらい。【工・男】

●とにかく方向性が見えなかった。【工・男】

●言っていることが理論的におかしかった。【工・女】

●教科書に書いてあることを音読しているだけだった。【工・男】

●声が聞こえない。【工・女】

●声が小さくせめてマイク使ってほしかった。【工・女】

●何のためにやったのか分かりません。レポートの書き方もノートの取り方も2回生になってやっと分かりました。あとアンケートにバグが発生しています。どうかしてください。

【工・女】

●教員の声が聞こえづらかった。【工・男】

●板書ミスの多さ 説明の聞き取りにくさ。【工・女】

●※※先生はとりあえず声が小さい。小さくて教室は小さいのに声がよく聞こえず授業内容を理解するのに支障をきたす程だった。マイクを使ってはいたがそれでも小さい。マイクの集音にも問題があったのか。それと、成績評価は後期試験一発だが、その後期試験が3問しかないので、一問失敗するだけで60点という単位取得ぎりぎりのラインにまで下がってしまうのはよくないと思った。【工・男】

●声が聞こえにくかった。【工・男】

●学生にスキルよりも単位を与えることを優先していた感じがする。【工・女】

●声が小さい。字も小さい。黒板が見にくい。【工・女】

●課題の量が尋常ではなかった。【工・男】

●話すスピードが速く、聞き取りにくかった。【農・男】

●間違った情報を与え、訂正しなかった。【農・男】

●板書の文字が小さく、スピードが速すぎた。【農・女】

●試験問題が過去問に比べて難しすぎた。【農・男】

●試験前に突然担当教員が変わった。【農・男】

■ C群科目

●クラスの受講生がうるさかった。【文・男】

●具体的には、毎回15分以上先生が遅刻してきた。【文・男】

●生徒を子ども扱いしている。【教・男】

●授業と呼ぶにはお粗末、教員として不適格。【法・男】

- 教員がクラスに馴染んでおらず、また英語のはずなのに語学の学習といった内容が少なかった。授業は教員の趣味だけで行われるものではない。ひどい。【法・男】
- ただ、答えを言っていただけなら、先生要らないじゃん、っていう授業だった。【経・女】
- 教員の人格に対し生理的な嫌悪感を抱いた。(クラスに同意見多し)【経・男】
- もはや何のための勉強かわからない。【理・男】
- 教科書が中国語しか書いてなくて勉強しにくかった。【工・男】
- 英語のスキル向上にあまりつながらなかった。【工・男】
- 英語能力の向上に全く役に立たない。もはや英語の授業ではない。【農・男】

■D群

- 生徒の運動能力の差を考慮していなかった。【法・男】

■BD群

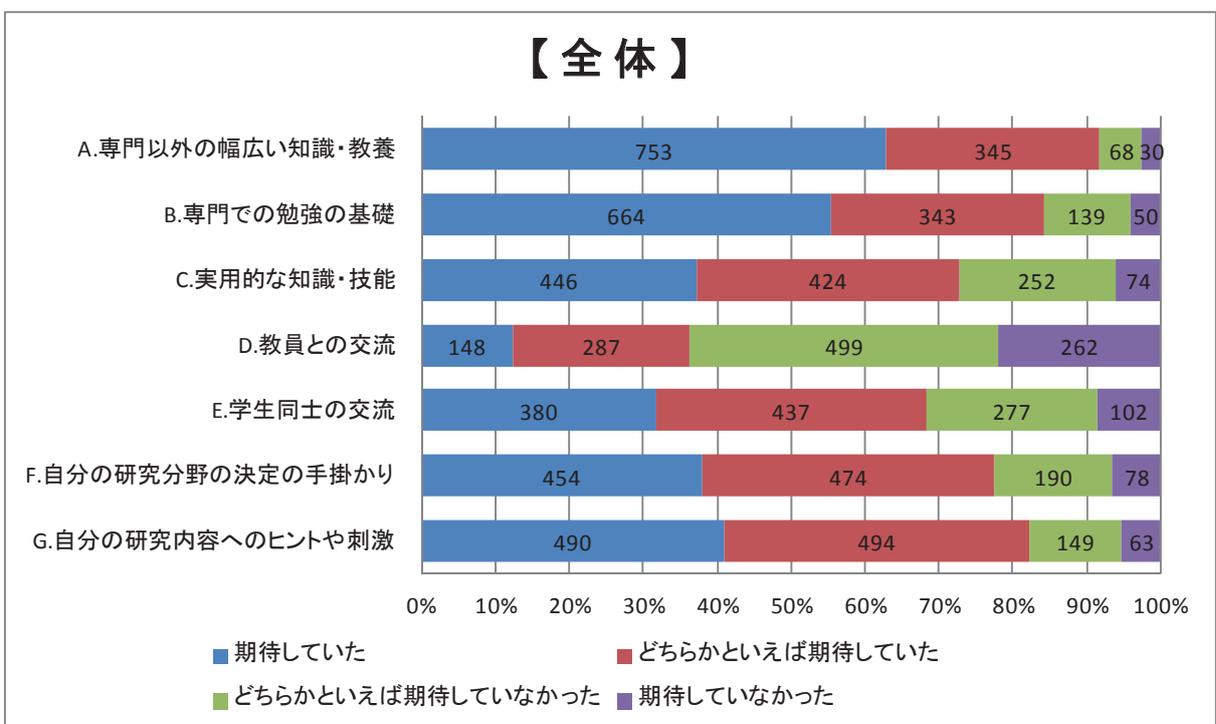
- 試験の欠席理由がインフルエンザだったのに、追試を受けさせてもらえなかった。【文・女】

4 全学共通科目への期待

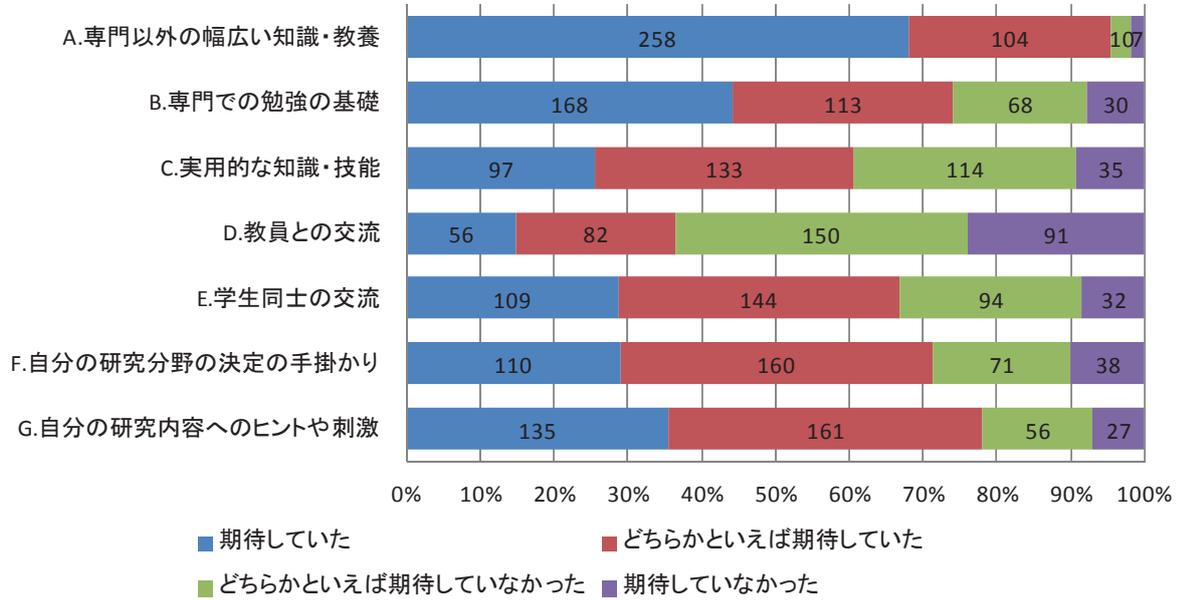
問4 あなたは入学当初、京都大学の全学共通教育に対して、次の各項目をそれぞれの程度期待していましたか。

	どちらかといえば		どちらかといえば	
	期待していた	期待していた	期待していなかった	期待していなかった
A. 専門以外の幅広い知識・教養	1	2	3	4
B. 専門での勉強の基礎	1	2	3	4
C. 実用的な知識・技能	1	2	3	4
D. 教員との交流	1	2	3	4
E. 学生どうしの交流	1	2	3	4
F. 自分の研究分野の決定の手がかり	1	2	3	4
G. 自分の研究内容へのヒントや刺激	1	2	3	4

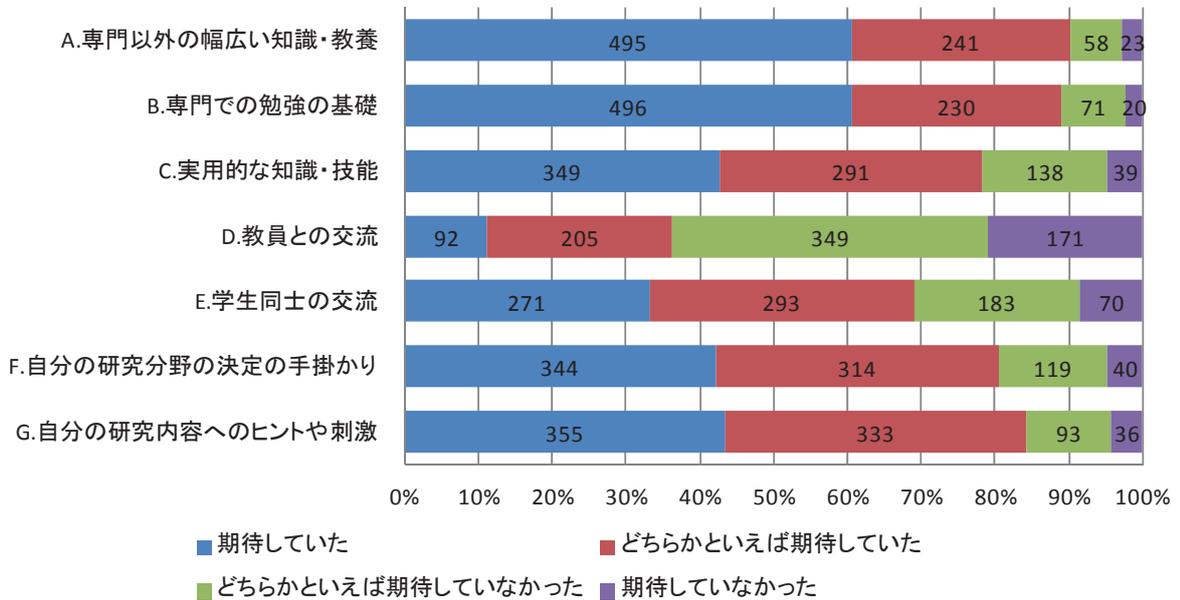
4. 1 全学共通科目に期待する内容



【文系】



【理系】



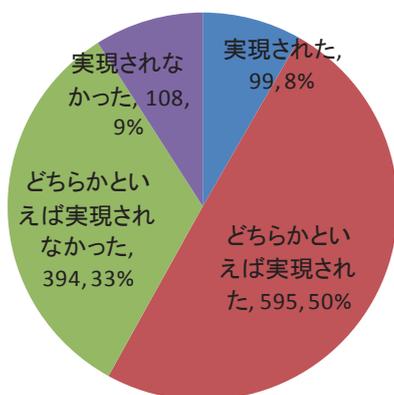
5 期待は実現されたか

問5 全体として、あなたが全学共通教育に対して抱いていた期待は実現されましたか。

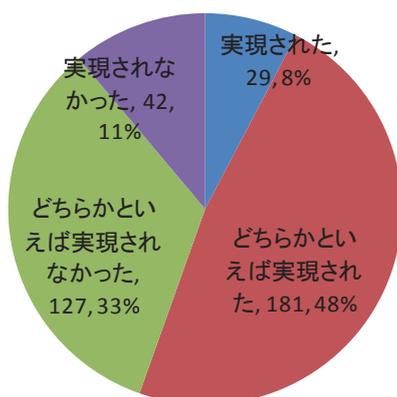
- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 実現された | 2 どちらかといえば実現された |
| 3 どちらかといえば実現されなかった | 4 実現されなかった |

5. 1 全学共通教育への期待は実現されたか

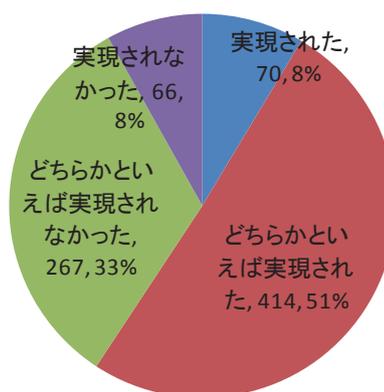
【全体】



【文系】



【理系】



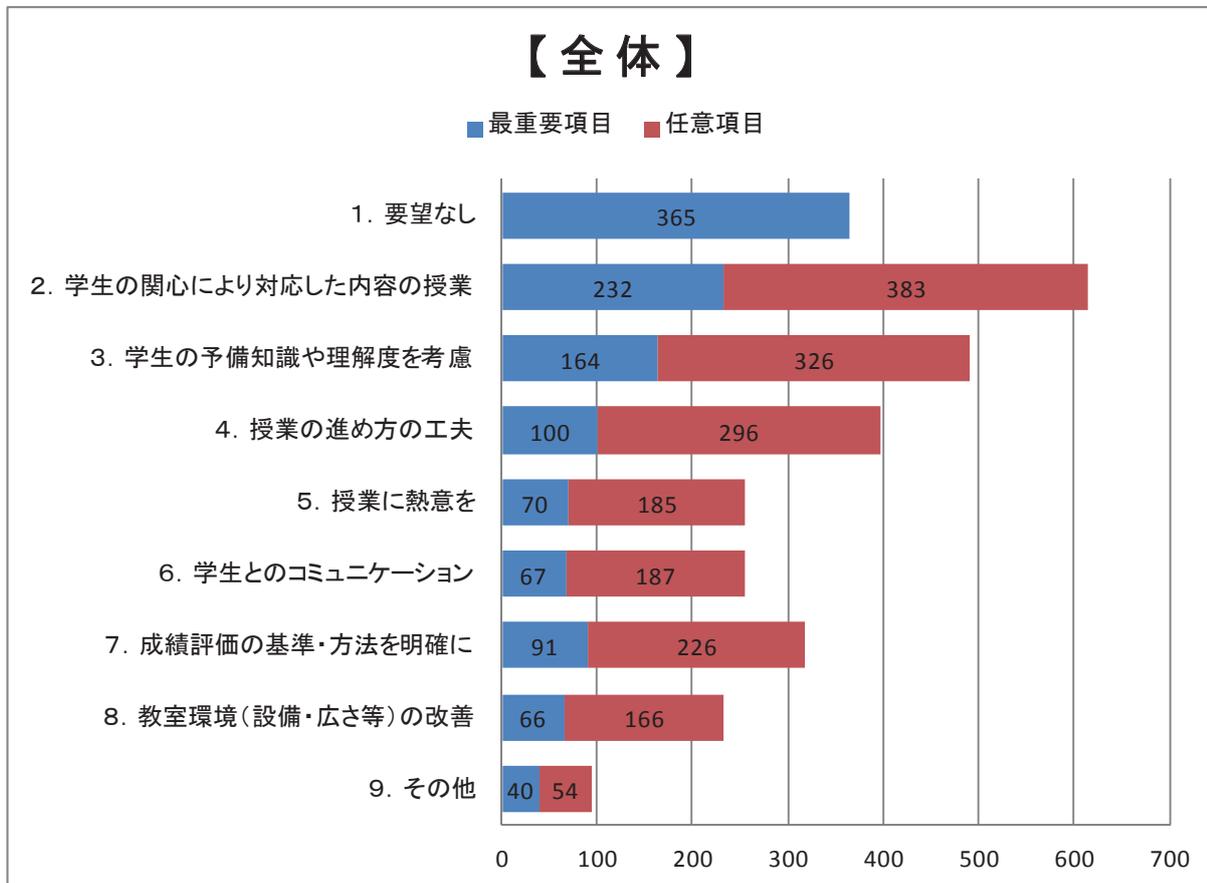
6 今後の全学共通教育への要望

問6 今後の全学共通教育に対して、どのような改善を要望しますか。あてはまるすべてのものすべてに□チェックをつけ、最も重要なもの1つを選択してください。

- 1 特に要望はない
- 2 学生の関心により対応した内容の授業をしてほしい
- 3 学生の予備知識や理解度をもっと考慮してほしい
- 4 授業の進め方をもっと工夫してほしい
- 5 授業にもっと熱意をもってほしい
- 6 学生とのコミュニケーションをもっととってほしい
- 7 成績評価の基準・方法をもっと明確にほしい
- 8 教室環境（設備・広さなど）を改善してほしい
- 9 その他（自由記述）

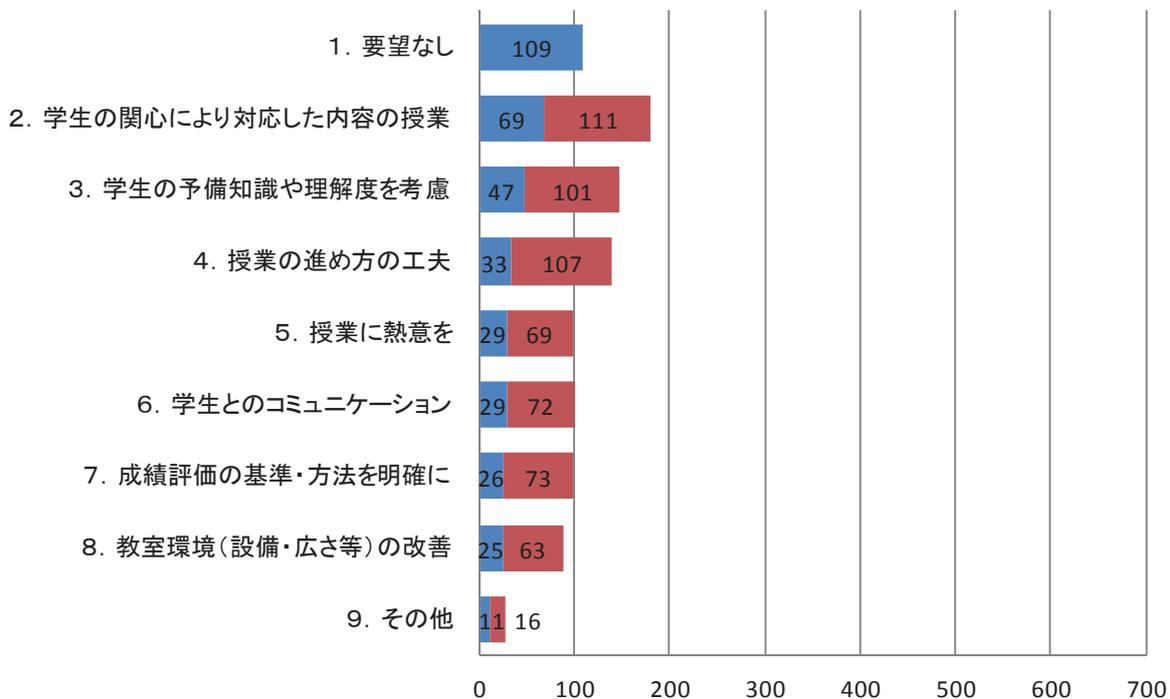
上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～9から選択）

6. 1 項目別集計



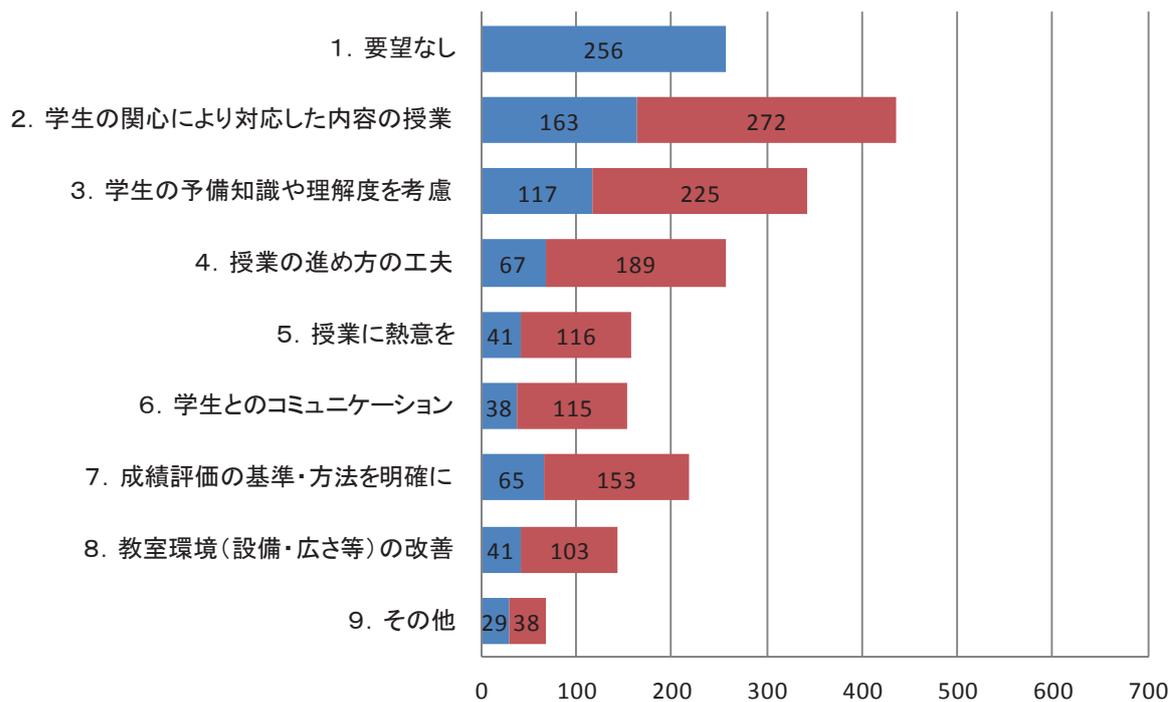
【文系】

■ 最重要項目 ■ 任意項目



【理系】

■ 最重要項目 ■ 任意項目



6. 2 「改善の要望：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 履修制限をしないでほしい。教室を変える、同じ授業を増やすなど対応はできないのですか？
【総人・男】
- ※※氏は試験で基礎知識を問い受講者を選抜するようだが、全学共通教育の時点で受講者を篩にかけるのはいかなものかと思う。どのような学生にも、基礎的知識を授けようと云う構えが見られない。教育者としての※※氏の姿勢と、全学の姿勢とが問われる大きな瑕疵である。【総人・男】
- 就職先とのつながりを持つ機会がほしい！【総人・男】
- 勉強させるのではなく学問することを奨励して欲しい。【文・男】
- 学生のことなど気にせず、教授の方々がもっとやりたいようにやっていただきたいです。そういった教授の授業程よかったです。【文・男】
- 文学部のクラスが嫌なので、クラス授業を廃止してほしい。【文・女】
- 履修登録の期限をもう少し長めに取るか、何回かに分けてチャンスを増やして欲しい。
【文・女】
- 歴史系の分野で近現代史を取り扱っているものが非常に少なかったのもっと増やしてほしい。【文・女】
- 抽選に落ちて履修できないことが、もっと少なくなるようにしてほしい。【教・女】
- 英語講義での先生の英語力と、インタラクティブで内容のある授業。【法・女】
- 大学から教員に縛りを強める(授業数や定員の強制、成績評価法)のではなく、教員個人の裁量に任せてほしい。【法・男】
- 形骸化した授業をなくすか、もっと中身を充実させるかしてほしい。【法・男】
- 廃止してほしい。【経・男】
- まともな(マルクス経済学的でない)経済学の授業を開講してほしい。【経・男】
- 第二外国語の、教師間の授業難易度格差が不公平。加えて、どうせ杜撰な大学教育で学生が第二外国語で喋れるようになるわけないんだから、第二外国語を学ばせてる意味が分からない。やるなら、徹底的に学生を喋れて聞けるようにするで、やらないなら必修にしないでほしい。【経・男】
- 根本的改善。【経・男】
- 1回生のうちからゼミ形式を増やしてほしい。【理・男】
- 興味の持てる講義が、学部によって単位に認定されなかったりするのは間違っていると思う。
【理・男】
- 抽選科目の抽選方法、およびその時期。【理・男】

- AB群を復活させてほしい。【理・男】
- 教師のやりたいようにすべし。【理・男】
- 抽選科目で本当に受けたいと思っている人が受けられないことがある。潜るにしてもあまり無駄に授業出席できないから限界がある。【理・女】
- 教授にもっと勉強してほしい。【理・男】
- 文系用のB群同様、理系用のA群がもっとほしい。【理・男】
- 受けたい授業が専門とかぶって受けられなかったりしたので授業のコマを増やすなど時間割をもっと考慮してほしい。【理・男】
- 興味のある分野が限られているのでA群やB群といった区分をなくしてほしい。【理・女】
- 理学部ですが、第二言語必須性を無くして欲しい。直ぐ忘れるだろうに何の為にやっているのか解らない。【理・男】
- 定員。【医・男】
- もっと能動的に授業に取り組めるような工夫をしてほしい。【医・女】
- 自由度を高くし、自学自習の形にしてほしい。【医・女】
- 1回生時から第二外国語が複数学べればもっと良い。【薬・女】
- 工学部だとB群の全学共通科目をとれない(とっても意味がない)が、B群の全学共通科目のほうが興味がある。【工・男】
- 抽選って言う方法で、結局本当に興味がある科目が履修できない場合が多すぎる。何とかできるかな～【工・男】
- より幅広い視野の講義が増えとうれしい。特に社会的弱者の目線が必要。さらに言うと、専門と重複したりする強化の重複について、もっと柔軟に対応してほしい。【工・男】
- 将来の役に立つ授業をしてほしい。また、努力が結果に反映されやすくしてほしい。【工・男】
- 簡単なグループディスカッションなどたまに能動的なイベントを入れてほしい。【工・男】
- 8について、特に各教室に換気扇が欲しい。教室で昼食をとった人がいたとき、臭いが教室に充満していていやな気分です。授業に参加しなければいけなかった。【工・男】
- 時間割の作成期間をもっと早い時期に設定してほしい。授業以外の計画が立てられない。【工・男】
- 成績評価の基準を他の科目とそろえて欲しい。(語学のあたり外れが大きい。)【工・男】
- 実用的な内容に見えても実際は使えなさそうな内容だった授業が多かった。【工・男】
- 履修制限は、どうしようもない制度ですね。どうせ来なくなる人たちのせいで受けられなくなってしまう。【工・男】
- 理系にA群の単位はなにもしなくても与えるようにした方がいい。興味があるなら単位が関係なくとも行くでしょう。【工・男】
- 試験の問題用紙・解答用紙を採点后返却してほしい。【工・男】
- 特に、物理や数学で「分かりやすさ」を重視して教えてほしい。【工・男】
- シラバスなどに科目ごと、この授業をとった感想が書いてあるとうれしいです。【工・女】

- 後期の授業終了が遅くなってもいいので、冬休みの期間をもう少し伸ばしてほしい。【工・男】
- 人気講義に関しては複数コマ開講する、広い教室を使うなどの措置をとり、履修制限を最小限にしていきたいと思います。【工・男】
- 先生の説明能力（話がわかりやすい、面白いなど）の改善。【工・男】
- 最初から出席ありきの授業スタイルが多く、やる気のない学生が授業に出ていて不快。
【工・男】
- シラバスをもっと詳しくして自習可能に。授業資料や過去問アップ。【工・男】
- A・B群の復活。テニスコートの復活。【工・男】
- 講義・教師を逆評定するシステムを構築して欲しい。仕組みを向上させて欲しい。このようなアンケートの結果が、講義と評価が紐付く形で開示されれば、生徒と講義のアンマッチは相当減るはず。
 - ・逆評定を教師の待遇に反映させて欲しい。教育に興味が無い教員が講義をおこなっている様子は目に余るし、受ける側も時間の無駄。特にポスドクによる英語講義は、食わせるためおこなわれているとしか思えない。生徒（の平均）よりも能力が低そうな先生すら居た。学外から講師を招聘するなどして、意味のある講義にして欲しい。犠牲になるのは生徒の英語力。
 - ・優良可の比率を統一してほしい。日本の大学のGPAには意味が無いと言われる状況を改善して欲しい。【工・男】
- 履修しなければならない語学が履修できないなどの問題を改善してほしい。【工・男】
- クラス指定によって興味のある授業をうけれなかった。【農・男】

7 自由記述

問7 あなたは、1年間全学共通科目を受講して、どんなことを感じ、どんなことを考えましたか。自由にお書きください（たとえば、勉強における悩みや不満、その解決策、あるいは楽しさ・感動など、何でも結構です）。

学部別に、記述内容を掲載する。◎は男子学生、○は女子学生の回答である。

なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

7. 1 総合人間学部

○さまざまな分野の講義を受けることができ、自分が関心を持っている分野に気づくことができてよかった。

◎自由に授業を選択できたことが自分の興味ややる気を掻き立てた。

○レポートの書き方が分からず困ったので、新入生に書き方の簡単なレクチャーがあれば良いと思う。（資料の探し方や形式など）

色々な分野の研究者・先生の話が聞けて貴重だと思う。

◎あえて自分の興味とかけ離れたような講義を受けれるのが醍醐味。

あまり、単位取得難易が公開されていると自分の履修したいもの<単位が取りやすいものになってしまうので考え物。

◎英語講義をもっと増やした方が良かった。

◎特になし。

○語学の授業はどれもとても楽しかった。

講義形式の授業を多く履修し、ゼミや演習形式の授業をあまり履修しなかったことが反省。

全学共通科目における演習の授業は他学部の学生と交流できる貴重な機会だと思う。

◎入学試験があんなに難しく本質的なものを問うたのに、理系の授業があまりにも本質的でなく呆れた。クラス指定の制度を廃止してほしい。他の人が良好な授業をうけているのに、自分のクラスだけあんな授業をされるのは極めて不公平。

◎数学で練習問題を解く際解答があれば理解できると思うのだが解答をもらえないので理解がむずかしい

◎いろいろな分野の学問に触れることができたので今まで気づかなかった自分の興味ある分野を発見することができた。

◎あまりおもしろくない。知的好奇心が満たされない。

○言語学関係の授業が少ないので増やしてほしい。スペイン語中級がなぜ5限ばかりなのか？
2・3・4限にも開講してほしい。

- ◎自分が今まで興味のなかったことでもとってみると意外に面白かったり、自分の進みたい方向へのいい刺激になったりして良かった。
- ◎自分が思っている以上に学問分野や多岐にわたるということ。さらにその中から自分がどれに興味を持ち、どんな問題意識をもって望むのか考えるのは非常に苦勞するということがわかった。
- 講義に興味のない学生がいることは仕方ないかもしれないが、教員は熱心であってほしい。
- 多くの分野に触れることができた。
- ◎昨年のような勉強の仕方では本当に今後の役に立つのかわからない。
- ◎問3で回答した現代人類学についてですが、今まで全く知らなかったことを学んだことで自分の世界が広がり、有意義な勉強ができました。
- ◎卒業論文やその後の進路を何によって決定するか。趣味や興味が浅いので決め手がない。この大学を選んだようにテキトーに選ぶしかなかった。
- 全学共通とはいえ、かなり専門的な内容で難しい科目もあった。だが、1年間で様々なことを学べたのでよかったと思う。
- ◎1回生のうちに単位をとれるだけとっておいて、2回生以降余裕をもった時間割を組めるようにしようという計画を達成でき、うれしい反面、真摯に向き合えていない科目もできてしまったので反省してます。
また、何か長期的な夢や目標を持とうと当初は意気込んでいた(はず?)なのに、結局これといったものが見つけれず、少し落ち込み気味です。
- 授業はあくまでスタートラインを示してくれるものであり、そこから自分で勉強しなければ、浅い知識で終わってしまう。
- ◎成績の評価が明確じゃない講師が多い!
- ◎いろいろな教授の講義を聴くことで、その人の人柄や価値観を知ることが興味深かった。
- ◎いろんな分野の話聞いて、教養を深めることができたと思います。

7. 2 文学部

- ◎ 全学共通科目ではさまざまな科目が開講されており、自分の興味のある講義を履修できることがよかったです。一部の授業では多少高度な予備知識が必要とされるものがあり、授業内容の理解が難しかったものもありました。
- 自分の専門にしたいことが見つかった。
- ◎もっと幅広い分野の講義を受ければよかったですと後悔している。
- 科目や教員によって熱意や授業の充実度に大きな差があると思いました。
- ◎京大に来て、高校までやってきた暗記方式の勉強をしなければ得点にはならないという事実には愕然とした。「自学自習」と吹聴しておきながら所詮は暗記か、とやるせなさを禁じ得なかった。結局は学問でも何でもなく「勉強」そのものだった。一つも「自由」を感じられなかったのが残念だった。

◎「最近の京大生は劣化している」というのは、ある全学共通科目の前期の最初の講義の初めに、担当教授が僕を含めて出席していた学生に向かって投げかけた言葉だ。自分だけが優れている、というわけではないけれども、実際周りを見てみるとその言葉は決して暴言でも放言でも虚言でもなく、的を射た叱責であると思う。

まず入学したばかりの僕たち学生が完全に大学の授業をなめている。大学生の学力低下などと言った問題は僕が入学する前から様々な報道等を通じて耳にし、知っていたけれども、正直「そうはいてもさすがに京大は」という思いが自分の中にあり、だからこそ入学してからは質の高い授業を、質の高い仲間と共に、という大きな期待を持っていた。しかし入学後に見た現実には他の大学と大差はなく、はっきり言って心底失望した。

受ける側の学生に講義内容に対する興味・意欲が感じられないのだから、当然自分の研究活動の時間を割いて講義に当たってくれている教授側にも熱意が感じられなくなって当然だ。一般に、学生が単位の修得が容易だと考えている諸科目（特に履修制限有の科目やリレー講義の科目に多い）の成績評価方法や単位修得要件をもう少し見直した方がいいと思う。「授業に全く出席しないでも試験の過去問さえ手に入れば単位が取れる」とか「シラバスさえあれば余裕」などといったつまらない動機で履修しようとする学生が多すぎて、本当にその科目の講義内容に魅力を感じ、履修しようとする学生が非常に迷惑している、といった状況をよく目にしたり、実際自分も経験した。

○文学部は1回生時の学部科目が少なく、全学共通科目を自由に幅広く取ることができたため、自分の知見を広げられたと思います。

◎先生の気まぐれで進む授業もあったので、もう少し体系的に授業をしてほしかった。

○教養の世界が広いことに驚きと喜びを感じた。

○色々な科目をとったことでそれまで興味のなかった分野にも興味をもてた。たくさんのすばらしい先生に出会えた。

○自由に選択可能だったので、楽しかった。

◎世界は広い。

○後期が少しひまだったのに対し、2回生が忙しすぎるので後期に学部科目がとれればよいのにと考えた。全学共通は楽しかった。

◎全学共通科目のための予習等で時間がとられてしまい、読書等で自ら学ぶ機会が限られてしまったのが残念だった。全学共通科目は、内容は高度だが、高等学校の授業の延長のような印象を受けた。

◎幅広い知識を身に着けることの重要性およびその楽しさを感じた。

◎勉強よりも部活動に時間を取られて、自分の理想的な姿とは異なる1年になってしまった。できれば専門が本格的になる今年度からはもっといろいろな勉強をしていきたい。

◎面白い授業は果てしなく面白いが、つまらない授業はどうしようもなくつまらない。全学共通などすべて自由単位にすればよい。

○自分は文学部だが、逆にB群のほうに興味をもてて、面白い授業を受けることができた。

- ◎全学共通科目にはいろいろな学部の人たちがいて、独特な雰囲気だった。一見すると、まじめにやっているのかという印象を受けたが、なんといっても京大生なので、しっかり、効率よくこなしている。「周りはやっていない」と自分が思い込んでいる考えを捨てなければと思った。
- ◎幸運にも私の希望した科目はほとんど抽選に漏れることも期待に違うこともなく、非常に充実した1回生の生活となった。
- 自分の研究したいことに直接関係ないと思われる科目の内容を今後にどのように生かそうか考え、その方法を組み立てるのが楽しかった。
- 自分の知らないことをいろいろ学んだ。それは大変でもあり楽しいことだった。実用的な知識は多くないけれど知ることが楽しいし、それだけで意味があると思う。
- ◎履修登録に際しては、一見ただけで関心の対象を絞ってしまっていたので、より視野を広げて科目を選択すべきだった。のちにシラバスを見返して、あの授業は実はおもしろそうだった、と後悔したことが多々あった。
- 新たな世界を知って、研究したい内容が変わったのを実感し嬉しくなった。
- ◎文系の自分にとって、特にB群の科目は非常に新鮮で興味深い分野であるように感じられた。学生が文系であることを考慮して設計された科目も多く、専門外の学問への興味を促す全学共通科目としての役割を大いに果たしていたといえると思う。
- レポートを書くのに苦勞した。
- 文学部のクラス授業（語学）が非常に嫌でした。理由は、クラスの女子のテンションが高すぎて騒がしかったからです。
フランス語8Hコースは少人数授業で楽しかったです
- ◎どんな科目であっても、自分が取った科目ならば、きちんと勉強をするべきだと感じた。
- 当初は、自分がどのような分野に興味をひかれるのかが分からなかったこともあり、いろいろな分野の知識を偏りなく身につけようとして取り組んでいましたが、講義を重ねるにつれて、「この講義には何としても出席したいけれど、この講義は出るのが面倒だな」などと考える自分を通して、自分がどのような分野に本当に興味があるのかが、少しずつ分かってきました。
- 自分の専門以外のことを学ぶことができ、非常に興味深かった。
- とくになし。
- ◎ゼミで他の学生と交流できるのはとても楽しかった。
- 前期は何を取ればいいのかわからなかった。
後期になってから授業を楽しめるようになった。
語学は一度乗り遅れると追いつくのが大変困難なので、辛かった。
再履修では、その分頑張ったので、よく理解することができたとはいえないが、単位はとれた。
- 教授陣に伝える気がない授業はつまらなく感じた。
反対に熱意ある教員の話は知らない分野でも楽しく聞いた。
- ずっと講義を聞くだけで、自分で考えることをしない授業は意味がないと思った。

- 通学時間が長いうえに授業に熱中できず大変つらかったです。
- 好きな授業は欠かさず出席して話を聞いたが、嫌いな授業(興味が持てない or 話が聞き取りにくい)は寝たり、欠席してしまう。とにかく興味が無いものは辛かった、寝てた。
- ◎文学部とは違う分野の授業をとれることができ、面白かった。
- ◎楽しそうに語ってくれはる先生の授業は、やはり楽しかったです。
- ◎ある科目を受講しても、その受講期間はわずか3、4ヶ月程度である。興味を持って自分で主体的に学ぼうとしなければ受講した内容も結局何も身に付かないと感じた。
- 高校での学習を基にもよりピンポイントに理解を深めていく授業から、全く初めての内容のものまでいろいろあり面白かった。
楽かどうかをあまり重視せず、自分の興味のある科目を優先的にとってよかった。
- ◎多岐にわたるジャンルの授業から自分の興味のあるものを自由に選べるので、知的好奇心がくすぐられる教養課程の大切さを感じた。しかし、ただひとつだけ納得がいかないのは、木曜1限の**先生担当の英語IAの成績評価についてである。
- 自分から進んで、色々なことを吸収しようとする積極性がないと、真の意味で学びを深めることは難しいのだと痛感しました。特にゼミ形式の授業などでは、自分の意見をしっかり持ち、それを言葉として表現する力がないせいで、なんだかもやもやとしたまま終わってしまい、自分がふがいなくなったりもしました。
それから、語学の授業の予習が思ったよりも大変で、毎週1日はほぼ徹夜になってしまったのは、なかなか大変でした。
大学に入ったら遊び放題・・・なんていう甘い言葉もきいたりしていたのですが、現実とは違ったようです。でも、1年が終わって、一番充実感を感じられたのもまた、予習の厳しかった語学の授業に対してでした。やはり、一生懸命取り組んだ方が、きつくても、達成感がありよいと思います。
- 自学自習が大事。
- ◎理系科目をもっと履修してもよかったと思う。
- 入学当初は、それまでの教科や科目といった分類に当てはまらない勉強がとても新鮮に思えました。ですがしばらくすると、1回生で取れる専門科目がほとんど無いということもあって「一般教養ばかり取って、自分はいったい何を勉強しているんだろう」と、物足りなさのようなものを感じ始め、雑学のようなことをやって何の役に立つのかと疑問に思ったりもしました。けれど、後期を迎えたころ「2回生になれば逆に専門科目ばかり勉強することになるのだから、いろいろなことに触れられるのはこれが最後のチャンスだ」と考えられるようになり、意識が変わりました。
今の段階では、一般教養のおかげで自分の教養が深まったという実感は正直持っていないのですが、どんな些細な知識でもいつどこで役立つかわからないものです。また、世の中に「教科」という分け方のできない、「学問」というものがあるということを知りただけでも意味はあったのではないかと思います。

- 興味のある分野について理解を深められる授業に出会えてよかったです。
- ◎正直、大学の授業が想像していたものほど華やかではありませんでした。「あーこんなもんかー。」という感じです。
中にはとてもいい刺激をあたえてくれるいい授業もありました。しかし、全体的につまらなかつたという印象が大きいです。
- 以前から少し興味はあったが学ぶ機会がなかった分野について学べたので収穫になったと思う。

7. 3 教育学部

- 教育学部は一般教養の単位の取り方がかなり自由なので様々な授業を取ってみましたが、とても楽しかったです。専門や自分の将来につながるようなものも学ぶと面白いなと感じました。
- ◎全体的に教室の環境は悪かったと思います。特に人気科目は一つの大教室にあふれんばかりに生徒がひしめく状態であったため、熱気や湿度、私語などで集中力が保てるような状況ではなかったと思う。また、やや小さめの教室でも、席数以上の生徒が出席するような授業もあり、人数制限をしてほしかった。また、講師陣の声も全体として大きいものは少なかったと思う。そういった点は解消してほしいと思う。
- ◎必修との関係上とれない授業が多いことに不満を抱いた。
- 自分の専門以外のことも学べて楽しかった。
- 楽しかった。
- ◎①：講義の数をもう少し絞っても良いのでは？ と思った。
②：①の割には、もう少し多く開講してほしい（時間割の都合上）科目があった。
③：教育評価の基礎は非常に良い科目だと思う。「勉強したい」と思うことができた。
- ◎浅すぎて興味が持てなかった。
- ◎幅が広すぎて、あまり具体的なものが身につかなかったように感じる。ゼミ方式の授業の充実を求めます。また1回生の前期に自分が学びたいような授業をとれていなかったため、登録期間を4月いっぱいにするなど、うまく履修できるシステムがあったほうがよいように思います。
- ◎自分の興味関心がどこにあるのかをおおまかに把握することができたのはよかった。ただ興味をもてない科目に対してはあまり真剣に取り組めず、単位を取れさえすればいいと考えるようになってしまった。
- ◎自分の興味のあることを学べるというのは、とても面白く、良いことだと思いました。
- 一見自分の興味に何の関係もないような授業でも、後々考えると進路を決めるうえでその授業で得たことがとても参考になっているのに感動。
- ◎幅広い学問分野の講義を自由に履修することで自分の興味の対象をより明確に認識でき、また新たな自分の興味に気付くことができた。

◎面白ければ受ければいいし面白くなければ取らなければいい

楽勝科目なるものが囁かれ単位欲しさに登録をするものが多いと感じた

それは別にいいが、その人たちが興味を持って履修を希望した人たちを押しつけて登録し、揚句来なくなるのは我慢できなかった

7. 4 法学部

◎特にない。

◎とにかくいろいろなことを学習できて、興味深かった。

◎入学当初はなんでも真剣に取り組もうと考えていました。ところがサークルの先輩から一般教養科目は楽にして単位が貰えると聞いたので、その通りに時間割を作成した結果、次第に授業への参加率が減りました。それでも単位が全て貰えたので、ある意味やはり京都大学なんだなと思います。

○自分の知りたかったことだけでなく、興味がなかったものも楽しく学べてよかった。

◎学外活動でしか、充実は得られなかった。全学共通科目から得たものは殆ど無い。

◎テスト前に詰め込んで勉強する悪い習慣から脱せずにはいた。

高校までの勉強では知ることのできないことが知れたのはよかった。

○自分の専門外の分野のことも積極的に学ぼうかと思っていたが、シラバスを見てみると自分が果たしてついて行けるのかと不安になってしまって、結局単位がとれそうなものを優先してしまった。また、高校生までとは違う授業形式、試験形式、レポートの提出などにすごく戸惑った。

◎自主的に学ぶことの大切さを実感した。

◎この一年間、授業にはほとんど出席しませんでした。必要単位をいただくことができ、京大の懐の広さを感じました。

全学共通科目は退屈なものがほとんどでしたが、中には興味深いものも含まれていて、結果として、法律だけでなく政治経済関係の事項も専門科目で履修しようと思うに至りました。

◎自分の視野が広まりました。

◎正直、勉強している実感がなかった。少し頭に残ったかな、程度の学習だった。

ディスカッションや論文の読み方書き方、あるいは英語学習など、将来にわたって役に立つことの習得に時間を割けばいいと思う。

東京大学に通う友人の話を聞いて、向こうは充実していてうらやましいと思った。

◎会話でのネタから、ちょっとした考えることの一手目になるものも知れた。語学に関してはそのものの学習よりも、日本語をより比較的再認識することにつながった。

◎自分の所属する学部の勉強以外に触れることにより、様々なことに興味を持てるようになったと実感しました。視野が広がったように思えます。

◎幅広い教養が得られたと思う。

- ◎全体としては、専修分野にとらわれない柔軟な科目選択が可能なこと、および提供していた科目のレベル等についておおむね満足しており、このような広範な学びの場を与えていただけたことに感謝しています。ただ、特に語学に関してなのですが、同じ科目でも教員によって授業内容から難易度まであまりに異なっており、混乱を招かないかという思いを抱くことも時たまありました。1回生では基本的に教員を選べない語学については、授業内容に一定程度の規範を設けてもよいかもしいかなと思うことはあります。
- ◎自分の専門分野以外にも幅広い知識を得ることができたので良かったし、それぞれの分野についての最先端の研究成果を知ることができたので良かった。
- ◎自分の興味に合わせてとることができましたのでその点では良かったです。
しかしながら、成績評価が甘く簡単に単位が降ってくる上に成績が就職に反映されないこともあり、生徒のモチベーションはかなり低かったように思い、問題であると感じました。
- ◎何のために行っているのかよく分からなかった。
- ◎さまざまな分野を研究している教授に出会うことによって、自分の既存の知識の浅さを自覚したと同時に、さらなる知の探究への刺激となった。
- ◎ためになるものもあつたが大半はそうでもなかった。
- ◎採点が厳しい。
- ◎教養を幅広く学ぶことができた。
- ◎自分の専門にとらわれず、興味のある理数系科目を履修することができたのは、非常に有意義だった。
- ◎想像していたよりも知的好奇心は刺激されなかった。しかし、一部の授業では極めて興味深い話が聞けたし、充実感が得られた。
- ◎授業内容よりも、教授が自身の研究対象にどのような姿勢で向き合っているのかが非常に興味深かった。
- ◎京大生はもっと放し飼いでよい。
- ◎専門科目を勉強しているだけでは得られない幅広い知識が得られてよかったと思う。
- ◎面白かった。しかし興味があるのが一限目が多く、家が遠いためきつかった。
- ◎自分が興味を持てる授業に出て勉強するって楽しいなあと思いました。これからは専門科目で、興味があまり持てないものもあるので困っています。勉強したいことはいろいろあるのにそれが授業ではできません。
- ◎比較的簡単に良い成績が取れてしまうので、やる気が起きなかった。
- ◎理系分野にはあまり関心がなかったが、実際受けてみると面白いと感じた。
- ◎歴史ひとつとってみても、高校のような授業ではなくて、講師の方の意見・考察も混じるもので、本にするような内容だったなあと思いました。
- ◎多彩な学問の基礎を学ぶことができてよかったと思っています。
- ◎幅広い教養が身に付く素晴らしい授業でした。
- ◎文系でももっとB群を増やしてほしい。

- ◎あくまでも全学共通科目であるため、正直知的に興味を持てるものが少なく、水準（授業水準だけにとどまらず、周りの者の意欲も含む）も低いだらうと高をくくっていた。しかし、いろんな学部の優秀な学生と交流ができて刺激を受けただけでなく、多様な学問分野の教員に自身の学問の面白さと奥深さを教えてもらえた。また、社会に興味を持ち知りたいたいと思えるきっかけともなった。そして、レポートや自学自習の習慣が身に付き、勉強する楽しさと重要性について考えるきっかけともなった。加えて、専門科目をもっと勉強したいと思うきっかけともなった。
- ◎それぞれの授業で研究分野の多様なことに驚き、興味を持ったものもあった。
- ◎難しかったですT.T
- ◎色々な人間がいて、色々なことを研究しているが、それらの多くは誰かのためなどではなく、自分が納得、満足するためのものであるように思えた。自分を中心にすることが、熱意の原動力になるのだろう。
- ◎内容が身に着かない。
- ◎ポケットゼミを、無理は承知だが、希望通りのものを受講できるようにして欲しい。
- 単位がとれるか不安に感じた。
- ◎ゼミ形式の授業では、クラスや学部以外の友達ができて楽しかった。欲を言えば、英語で授業を行うクイネップのように、ドイツ語やフランス語で行われる授業を受けてみたかった。
- 人生で初めて学ぶ分野の学問に触れることで、法律学以外の学問への興味が湧き、より学問に対して積極的な姿勢になったように感じました。
- 興味深いと思った授業は前期後期とるようにしていた。それによって理解を深めることができた。
- リレー式の授業の採点方法が不明確で戸惑った。
- ◎選択した授業が知的好奇心を刺激しないものならば意味がない。高校レベル以下の授業も見られるので、せめて京都大学の名に恥じないレベルの授業をしてほしい。大学で単位を取ることが簡単だとされているから大学生は墮落するのだと思う。
- 抽選で受からなければ受けられないというのが多すぎると思いました。
- もっと真剣に聞いて、もっと多くのことを学びたかった。
- ◎自分でも何に興味があるのか明確でない状況で多くの科目を取らなければいけないため、いかに効率よく点数をとるかに重点がいき、本当に興味がある分野に集中することができなかった。また、英語は先生により内容や難易度が異なる上に、担当教員を選ぶことができないため、語学に力を入れたいとは思っていった自分としては、英語だけの授業を強制されるのは不満だった。
- ◎声の聞こえない教授がいた。
- ◎京都大学で学べることの多彩さ。
- また、多種多様な学問体系の中で、自分の専門を相対化して考えることの大切さ。
- ◎さまざまな分野の教育を受けることができ、とても満足です。

○世の中にはいろんな事があり、そのいろんな事を専門として研究している人がいることを、改めて知りました。ほんの少しですが、そのいろんな事の研究内容に触れることができ、ためになりました。

◎知識の幅が広がって、満足しています

◎全学共通科目は基本的に単位の取得が容易であるべきであり、人気科目に履修人数制限を設けるべきではない。全学共通科目が学生の自由な時間を拘束するような授業外での課題や試験対策を強いることはあってはならないし、ましてや専門科目の勉強の妨げとなるようなことは許されない。所詮全学共通科目は学生の自由な意思、学習意欲によって学習されるべきただの教養であって、押しつけられるようなものではない。そもそも、学生の興味、意欲を引き起こすことさえできない全学共通科目ばかりなのだから、この考えは至極当然だ。

これから全学共通科目が学生の足を引っ張らないようにすることが最善。

○専門以外の分野に触れられて楽しかった。

7. 5 経済学部

◎たいしたことなかった。

◎時間の無駄だった。

◎自分の興味に沿うものばかりを前期を受講し、それはそれで今後自分が学習していく内容に対しての新たな視点を獲得することができたものもあった。後期ではさまざまな分野に挑戦してみようと試みたが、逆に指針を見失ってしまい、勉強に少し行き詰ってしまった。

◎努力して勉強した学生と、他人から過去問を入手した学生が同一評価となる現状が納得できない。授業をしっかり聞いていたことが証明できるテストを行うことなど、何らかの対策を考えてほしい。

◎前期で履修していなかった授業を後期で履修したのですが、前期で学んだことを前提とした内容にはついていけませんでした。後期の授業で前期の内容を前提とする場合は、その旨をもっと学生側に伝わるようにするとよかったですと思いました。むしろ、前期履修していない学生は、後期では履修できないぐらいにしてもよいのではないかと思います。

○特になし。

◎ほとんどの学生が、単位を修得することのみを目的として受講しているのがよくわかった。自分もいつしかそうになっていた。

◎一般常識とはこんなものなのかと思った。

○声が聞き取りにくい教員が多く、やる気が失われることがあった。

◎単位を取ることが最終的に自己目的化してしまい、履修し、単位を取ったにも関わらず何も残らない授業の方が多かった。しかし逆に、単位が取れずとも得るものが大きかった授業、出席せずとも考えるきっかけを与えてくれた授業もあった。要は、教官・授業との相性と、自分の問題意識の組み合わせである。

- ◎幅広い知識や多角的な視点を得られると思っていたが、そこまで大して身につかなかったように感じる。
- ◎文理問わずに科目を選択できるのが魅力的だった。ただ、ほとんどの学生が1回生のうちに全学共通科目の必要単位を所得し、また回生を重ねるごとに専門科目に重点が置かれるため、2回生以上の学生が全学共通科目を履修する機会が減ってしまうのが残念である。
- ◎卒業が危うい。
- ◎※※先生の授業で、問題解決の方法等や交渉に関して、主体的に学べたから、感動もしたし、全般にパンキョーへの満足度が高いです。
- ※※先生のお陰で、理系科目恐怖症が消えたから、パンキョーの意義に関して納得できます。英語の※※先生や、※※先生も教え方が非常にユニークで、素敵な授業でした。
- 但し、その他大半の授業は、教え方が悪すぎて、話にならなかったです。教授さんたちは研究ですごく活躍はされているけど教えるまでは手が回らないですよね・・・って思いました。
- ◎勉学に励む人は自習し、そうでない人は小手先の手段を使って単位だけ取得しているように思え、授業そのものに対する価値が下がっているように思える。一方で、少人数で学生と教員の交流が盛んな授業では授業の密度が濃いと思うので、ゼミナール授業を増やしてもらいたい。
- ◎通常では機会が得られない高松高裁長官を退官された※※先生の授業を受け、感銘を受けました。
- ◎授業を通して様々な知識を得ることができ、また何よりも楽しく学ぶことが出来てよかったです。ただ、A群から16単位、B群から12単位というのは多すぎます。そんなにたくさん興味のある授業はないし、その多さ故にいくつかは手を抜かざるを得ません。それでは担当教員の方にも申し訳ないし、私たちとしても無駄な労力を使いたくないので、双方の利益のために必要単位を減らしましょう。ご検討をお願いします。
- 数学をもっとできるようになりたいと思った。
- ◎第二外国語などは将来における必要性も感じないので、クラス指定ではなくて意欲別、能力別に捨てれば良いのではないかと思う。
- ◎英語に対する意識が低い気がする。
- ◎自分の知らなかったもの見方や知識が得られてよかった。
- ◎いろんな学部のひとが受けているが、この中で自分の理解度はどれくらいの位置なのかを気にかけていた。
- ◎なし。
- ◎ややつまらない。
- ◎語学の進行プランに無理があったり、適当であったりするものが多い。
- 第二外国語の必要性をあまり感じなかった。
- ◎面倒。学生は単位を取ることが目的になって、全学共通科目として果たされるべきことが果たされていない。

◎世の中は自分の知らないことばかりだなあと思いました。

あとは、教授という存在が嫌いになりましたね。自分らが一を聞いて十を知るほどの天才だからっていきなり難しいことをさせすぎです。

普通の大学がゆっくり 1, 2, 3, 4, …と進んでいくところを京大が 1, 3, 5, 7 とやや早いペースで進んでいくのは構いません。でもいきなり 4 とか 5 からってというのは教育放棄ではございませんか？本気で学費を返してほしいです。

特に経済の教授はどんだけ偉そうなんですか。ぐちぐち政府の批判してる暇があったら、自己批判しろよって思います。

本気で自学自習を徹底させるなら、授業時間を減らしてください。

授業に出席させたいならまともな授業をしてください。

中途半端な大学だから、最近の京大はレベルが低いといわれるのでしょうかね。

僕は京大の研究を支える一部の天才の踏み台になる気はないので悪しからず。

○高校までと大学の一番大きな差は、学生と先生の距離だと思います。(私の場合は、ですが。)

大きな大学だから仕方がないけれど、誰が誰かもわからず、いろんな人が入り乱れて、学生は、単位を取ることが唯一の目的となり、教授陣も学生一人一人の理解度にあまり興味はない…という雰囲気の授業がいくつかあったのが、少しさみしかったです。でも、ある程度少人数の授業や、クラス指定の授業などは、だんだんみんなが仲良くなって行って、みんなで学んでいくんだという雰囲気になってすごく楽しかったです。甘えたことを言いますが、大学は、まるで名前を持たずに生きているような、しゃべっている教授の名前も、隣に座っている学生の名前もわからないままでも生きて行ってしまうことが、なんだかすごく不思議で、ほんのちょっとさみしいような気持ちがします。

◎興味のある科目とない科目でのやるきの違いに差が生じていた。

○文系のための数学基礎の授業を受講していたが、文系が高校では習わない数ⅢCの知識を前提に授業が進められたためついていくのが大変だった。数ⅢCを一から教えてほしかった。

◎上でも述べたが、生活と数学などは、教員の自己満足にすぎず、何を話しているかも聞き取れない状態だった。聞き取れたとしても、受講生のレベルを考慮していない、その講義のレベルについてもシラバスでは述べられていないので、理解することは難しかった。そのように、生徒に理解してもらおうという意図を全く感じない教員の授業はなくしてほしいと思った。

逆に、単位を取得することが難しく取得することができなかったとしても、非常に興味深い話を分かりやすく話してくれる教授の授業ならば、受講してよかったと思えた。

だから、熱意のある教員の授業をもっと増やしてほしいと思う。

◎実際に授業を受けてみると、シラバスを読んで感じた印象とは異なることが度々あり、本来思い描いていた知識はなかなか得られなかった。

教科書が指定されている科目でも、その教科書の内容にあまりふれなかったり、異なる講義が行われたので、高校等の授業との差を感じた。

- ◎成績決定後、試験・レポートの模範解答を示してほしい。
- ◎今まで触れることのなかった分野を学ぶことができ、新鮮で興味深かった。専門だけでなく、自分の専門以外の分野の講義を受講できることは非常に良かったと思う。
- ◎自分の専門とどのように結びつけることができるか。
- ◎ポケゼミで京の水資源というのを受講したのですが、その授業の中で鴨川で様々な魚をとって来て教室に戻りみんなでその魚を油で揚げて食べるというようなことをしました。京都大学の全学共通科目の質の高さをすごく感じたし、やっぱり京都大学はおもしろいなと思いました。こういう授業はぜひなくさないで欲しいと思います。
- ◎知的欲求が満たされた。
- ◎文部科学省の決まりの上で全学共通科目などのしょうもないものをやらなければいけないのはわかるが、それにしてもいかんせん受講する意味がわからない。いい授業もほとんどないし、いい授業をしても学生達を授業にこさせる努力もないし、ためになる授業として成功している事例はほとんどない。まじめな方々は全体の学生の一部として考えて一般的にみても、授業として成功している事例は以下の二つに限られると考えられる。
- ・先生のキャラがよく、こいつおもしろいと学生達に思わせることに成功した実力派の先生。(主に非常勤講師の方がこの確率が高いと感じる。)
 - ・少数人数の授業(ゼミ系や人数がしっかりと制限されている授業)。特にポケゼミはとてつよい制度だと感じた。実際私自身専門以外で唯一楽しめた授業であった。
 - ・リレー講義。成績評価があいまいになるが、話として聞きたくなることが多く行きたいと感じるものがいくつかあった。
- ◎やっぱ勉強は自分からやらないと何も始まらないということを「切実に」感じた。
- ◎専門科目に比べ幅広い知識が得られ、有意義だった。
- ◎いろいろなことを中途半端にしか学べなかったなと思いました。
- ◎特になにも。
- ◎正直に言うと全く授業に出席しませんでした。それでも単位が降ってきたのはすごくありがたかったです。あまり興味のないことの勉強を強要されるのはすごく煩わしく思いますし、このままの形で全学共通教育が推進されることを願っています。
- ◎特になし。
- ◎もっと自分の興味のある分野の科目を熱心に探すべきだったと思っています。入学当初は忙しかったこともあって履修科目を吟味する余裕がなく、周りに合わせたり、楽勝と言われる科目をとることを優先してしまいました。2回生になり、単位に余裕ができ、シラバスをきちんとみるようになって、1回生の時にもっと興味のある科目をとってればと後悔しました。
- ◎期待してたようなものではなかった。

- 教養科目とは呼ぶけれど、「教養」は授業でつくものじゃないなと思いました。
- ◎興味の持てない分野を学ぶことの辛さ
- ◎最低限度の努力はするべき。

7. 6 理学部

- ◎日本国憲法の授業を通して、これまで教科書や新聞などで目にしてきた憲法に関する問題を、深く知ることができた。
- ◎講義受ける以外にも、プライベートで、人間関係や恋愛で悩んでいる期間が長い1回生でしたがそんなときでも、一般教養の講義を受けているときは、先生の魅力的な講義で自分の新たな視野を開かせてくれたり、わくわくさせてくれて本当にこれから学問を学んでいく上での広く、しっかりとした大きな基盤を培わせてくれて、本当に楽しかった。
- ◎専門科目以外の社会学や教育学について学び、様々な考え方を学ぶことができた。その点で、総合大学であるという利点を生かしていると思うし、各分野の専門家の授業を受けれるという事は、とても大きな経験であった。
ただ、入学当初の学生の熱意に反してそれを失わせるような授業がいくつかある。授業内容が難しいだけではなく、教員の性格なども反映されるので仕方がないことではあるが、無駄に厳しい、無駄に易しい、必要以上に分かりにくい、などその理由はいくつかある。学生アンケートの結果からそれらをできるだけ改善してほしい。
ほかに、クラス指定科目によって受たい科目が受けられないこともあった。このこともできる限り改善してほしい。
- ◎90分間、話を聞き続けることは、よほど興味のある分野でない限り難しいと思います。全学共通科目の中でも専門に全く無関係の教養科目の授業では、もっと教員の方からの歩み寄りが欲しいな、と思いました。ほとんどの受講者が当然のように内職をしているか寝ている、といった講義がありましたので。
- ◎卒業要件で全学共通科目を結構取らなくてはならないが、特にA群などはあまりその意義を感じられなかった。もっと専門科目や、その基礎となるような勉強がしたい。
- ◎「実用的な知識・技能」「学生どうしの交流」「自分の研究内容へのヒントや刺激」の3項目において、期待していた以上の効果が得られた
- ◎先生によって講義に対する姿勢が異なり、一方で多大な熱意を持って講義を行っておられる先生もおられれば、他方適当に内容を消化しているようにしか見えない先生もおられた。熱意のある先生のほうが講義に興味を沸き、力もついた。
- ◎良い意味でも悪い意味でも自由だと思っています。
- ◎数学が楽しかった。
- ◎特になし。
- ◎D群の講義の内容にとっても興味を持てた。

- ◎おもしろかった。
- ◎非常に充実した一年だった。
- ◎熱意のある講師の授業はとても面白く、刺激を受けるものでしたが、対して、それがない講師の授業は「教科書を読めばできる」程度の授業でしたので、そちらを改善して頂きたいと思います。
あとアンケートがとても手間がかかり、答えにくいです。
- ◎全学共通科目により自分の進みたい研究分野がおおよそ決まりました。
- ◎線形代数の授業についていけなかったので、経済と数学Aで補った。
経験社会学 II では、教員の音楽への愛が伝わってきて、とても意欲がわいた。
- ◎入学前から、噂には聞いていたのだが、怠けている学生が多すぎる。授業の途中、45分を過ぎたあたりで教室に入ってきたり、無駄話をしたりしている。また、単位だけを取りに学校に来ている人もたくさんいる。自分だけで解決するなら良いが、他者の迷惑にならないようにしてほしい。
全学共通科目自体は満足している。おかげでいろんな知識を得ることができ、非常にためになった。これからもこのままであってほしい。
- ◎様々な科目が開港されており、それらが自由に履修できたのでいろいろなことを学ぶことができた。
- ◎教職を取りたいが、抽選が多く、上回生で取れなかった場合にどうしようか、と考えた。
また、抽選の結果が出る時期はすでに授業が本格的に始まっているので、落ちた場合に他の科目に回れないのがつらいと感じた。
- ◎語学の先生の教えかたの差がひどかった。まったく生徒を配慮していない先生もいれば、まったく逆の先生もいて、クラスごとに語学力の差がでていた。
- ◎授業中の生徒の態度がひどい。講義中に先生の目の前を通って教室の出入りする人が多い。
- ◎うちのクラス指定の先生がぬるすぎて、一年間で何も成長できなかった。単位は取れて進級には困らないが、自分の勉強としてはプラスになっていない。
- ◎人気科目の受講可能人数をもっと増やしてほしい。
前期・後期ともに、自分の興味ある分野の科目がとれないことが、ままあったので。
- ◎高校のときの学習とのギャップをものすごく感じた。
自分で調べてレポートにまとめるということは慣れていなかったがとても楽しかった。
- ◎勉強に面白みを感じなくなった。
- ◎授業のシステムにいくつか改善できる点があったと思う。
例として、ツイッターやQRコードなど、ITCサービスを用いた授業内での積極的な交流を促す仕組みや事務システムの合理化である。東京大学の友人などはこうした外部サービスを積極的に用いて学習している例があったので、京都大学でも適応性の高い授業で導入の検討を/採用をすべきだと思う。特に授業内のみならず、授業外での履修者同士の意見交換、教授への質問・議論を行えるようなインフラを整えて欲しい。

- ◎理学部所属の身にとっては、A群、教養課程の授業は受けていて見聞を広めるのに役立ったと思う。
- ◎全学共通科目は一般教養の充実という側面が強いですが、個人的には、大学での学習とはどのようなものかを知り、専門的学習を始めるための準備をするという意味合いでも意義深かったと感じます。加えて、教員によって個性的な科目が多く、時間割が許せば自分の興味ある科目を受講できたことから、趣味的な扱いも可能で楽しかったです。
- ◎卒業単位に認められる授業を増やしてくださると幸いです。
- ◎理系の授業では高校の授業に比べ抽象度が増し、また先生の中には基本から教えてくれない人もいたのについていくのが難しかった。
- ◎単位を取るために学ぶのではない。単位を取るだけなら簡単な事。
- ◎面白ければそれでよし。まあ、興味があったら何でも面白いけど。
- 自分は理系だけれども文系といわれるA群の授業もやはり好きだと感じた。考え方のヒントになると思うから、これ以上単位を取っても卒業単位に認められないけれど本当に興味のあるものは講義を聴き続けたいと思う。
- ◎教授の知的関心ばかりが先行していて、現実の問題に対応するにあたって具体的にその知識がいかに使うことができ、どれほど必要なのかという基本的な問いが講義には欠如していたように思える。
- ◎なし。
- ◎講義で得られるものは限られているので、能動的に活動しないといけないと感じた。
- ◎わりと出席ができずくじけた。
- ◎楽しい時もしんどい時もあった。でもそれが勉強なんだ、って思えた。
- ◎高校までの授業とは全く違ったものだったので新鮮だった。
自分から積極的に動けなかったのが悔やまれる。
- ◎理系科目は始めは知らないことばかりで困ったが、勉強すれば何とか理解できる内容だったのでよかった。
- ◎興味のある科目があっても、曜時限がかぶっているため履修できなかったことがあるので、いろいろな科目を複数開講してほしい。
- 幅広い選択肢の中から自分の興味にあった授業が選べてよかった。
- 特に無い。
- ◎思ってもみないような講義がいくつもあり、こんな学問もあるのかと驚かされた。
クラス指定や必修で興味のある講義が取れないことが多いのは残念だった。
- ◎モチベーションを保つのが難しかった。特に、一人で勉強しているときはふとしたら、ほかのことを考えてしまった。目標がはっきり定まっていなかったせいだと思う。解決には至っていないが、新学期が始まり、最近夢を持った。
ゲームの確率（勝率）を計算して、自分だけのプログラムを書くことだ。まだプログラムの初歩もわからない自分だが、今年は自分の数学を生かせる場を見つけたい。

◎特になし。

◎やっぱり一般教養よりも自分が専門的にしたいことをしている授業のほうが楽しい。

◎教師側に不真面目な人がいるのは仕方のないことかもしれないが、生徒側も不真面目すぎる。せっかく努力して入学したのだから、もっと真剣に勉強したらいいのに、と思う人が多く見られた。

◎様々な専門の先生方と関わることができ、とても刺激的だった。

◎一般教養科目も真面目にやれば面白い。

◎大学の勉強は高校までとは全く異なるということ。

◎広く学ぼうとは思っていましたが、受講したいと思う授業の分野は限られており、自分の興味分野は数学と心理学であることがわかりました。

ただ、なかなか自習をすることができず、全学共通科目の数学でさえつまずいてしまったのもっと勉強しなければならないと感じました。

系登録に向けて頑張りたいと思います。

◎特になし。

◎当局の方はもう少しおおらかでいいのでは？テストのときの試験監督の方は京大の人ってこんなんなのかと思わせられた。私には関係ありませんが。

◎自分の専門外分野に触れることが出来、楽しかった。

◎幅広い分野を少しずつかじることで興味が広がった。

◎勉強に対する自信の喪失によって勉強をしなくなった。

2回生になって、担当教授と面談することによって方向性を見出すことに成功し、今はやる気が再びわいてきている。

◎前期に比べて後期はおもしろい授業が少なかった。

◎正直、A群の科目は退屈なものが多かった。

◎語学を勉強する理由付けができませんでした。

◎大学には様々な人がいるということを考えました。

◎講義を受けた4か月間では時間が足りない為内容を十分には理解できず、夏期や冬期の長期休暇にやり直しが必要と感じました。

◎専門ではない科目なので、教授の方にも学生の方にも熱意が足りないような感じはあると思います。特に京大の教授の方にはその傾向が強いように思われます。他大からいらっしゃる先生や、非常勤講師のかたは授業にも工夫があり、しっかり授業に準備していらっしゃるよと感じました。

◎特になし。

◎興味深い授業はほんとに面白かったし、自分の教養に繋がったと思うが、おもしろくない授業はほんとにつまらなかった。しかし両者どちらも教養になったので、レポートやテスト勉強にはげむことは無駄ではなかったように思う。

7. 7 医学部

- ◎高校までよりもかなり専門的な話や、最新の研究内容についてなど、様々な興味深いことを聞いて楽しかった。現時点でまだ分かっていないことについても聞いて、大学で研究するということのイメージが少し湧いた。
- ◎自分のしたい勉学の分野に関連づけて講義を受ける楽しさを味わうことができた。
- 楽しかった授業は楽しかったですが、それがわかるまでしばらくかかるので、結局興味のない授業も登録してしまうことになったのが苦痛でした。
- ◎とにかく自主性の重要さを知った。
- 人気のある科目は抽選になるけど、本当にその科目に興味がある人と、簡単そうやからという人がいて、前者が後者のために抽選に落ちるのが残念である。後者は抽選に受かってもらくに授業を受けない。
- 幅広い範囲の知識を学ぶことができるカリキュラムになっていましたが、私の意識の低さのため、その知識を十分に自分のものにすることができませんでした。
- ◎興味深い授業を自由に選択し受講できたので、楽しい講義が多かった。事前に登録期間として授業を体験できる週間がありよかった。
不真面目な生徒が多かった。
- ◎大学の勉強とは、高校までのように受け身のままでは良い成果は上がらないこと。
自分から学問を追求していかないと中身のない学生生活となってしまうこと。
第二カ国言語の勉強はとても楽しい。
- ◎講義をする気のない先生は苦痛だった。
- 自分が今後学び、深めていくであろう専門分野とは違った、一般的な教養や、他の分野の興味関心が大きくなった。世界観が広がったと思う。
- 自分の興味に沿ったものを楽しく受講できてよかった。
- 知識が増えました。
- 全学共通科目を受講する中で、専門科目とのつながりが見えてきた。最初は全学共通科目は専門とは関係がないと思っていたが、一般教養や他の分野の知識を得てこそ、自分が専門とする分野の知識がより深まるのだと感じた。
- 自分の将来の研究や進路決定のてがかりになるかと思い、医療関係の授業を多くとったが一つ抽選にはずれたのが心残りである。学部毎に多少優先されたらいいのになと思った。
- 専門以外の知識も得られてためになったと思う。
ただ、いい加減な人が頑張った人と同じ評価をされる科目もあったのは残念だった。
- 自分が面白いと思う授業が他の人にはつまらなさそうだったりして、人の興味は色々だと思った。
- 専門基礎の科目で試験勉強に追われている時に全学共通科目の授業があるときは身が入りきらず困った。しかし教養を身につけたくて京都大学に来たのでその幅広さは納得行くものであった。

- 全学共通科目の教科は、授業を受けていると幅広く知識が身につくので良いと思う。
- テストの多さにうんざりした
- さまざまな研究分野の基礎的な知識が学べたので、いろいろなものに興味を持てるようになった。
- 前期は、授業の受け方や慣れに時間を取られてあっという間に過ぎていった。勉強に関して、附属図書館以外は、あまり遅くまでやっているところが少なく、勉強場所が確保できないままだった。2回生の前期が始まったら、生活を変えていきたい。
よかったことは、他学部の人と話したりできたこと。座学の講義でも少しはあったが、スポーツ実習での交流がとても心に残っている。
- 自分に興味のあることを勉強できて楽しかった。英語講義は本当に刺激的で良かった。
- 様々な分野の講義を受けることができ、自分の興味のある分野について考えることができました。でも、全学共通科目に対する学生の意識の低さに驚かされました。ただ単位が取るためだけでなく、自分が楽しめる講義を取ることも大切だと思いました。
- 入学前に考えていたよりは先生方の専門分野に寄った科目が多かったので、もっと一般市民としての教養を得ることができる授業があれば良いのに、と思いながら授業を受けていました。しかし1年間全学共通の授業を受けてきて、そうした少し専門的な授業を理解しようと自分で読んだ本などが、自分の教養を形作ってくれているのかもしれないと考えています。なので、総体としては満足しています。
- ◎興味をそそられる科目が多く、卒業に必要な単位数がそろってもさらに受講したいと思えた。単位をそろえるための受講ではなく、教養を深めるために受講したいと思えるものが多くて一年間楽しかった。
- ◎様々専門外の知識を得ることができたので良かった。
- ◎専門ではやらない幅広い勉強をできたところ。
- ◎専門科目が多すぎて、興味のある全学共通科目を満足に受けられなかったことが何より腹立たしかった。
- ◎クラス指定科目を動かさないがために、取れなかった授業があったのは残念であった。
- 履修人数の多い科目ほど講義が雑に感じてつまらなかった。
- 空き時間などに図書館で勉強しようと思っても席が埋まっていることがよくありました。
共北のフリースペースの様な場所や空き教室を使えばいい話ですが、私個人としては図書館の様な空調設備があり、周りに同じように読書や勉強をしている人がいるという環境の方が集中しやすいので、図書館や共北地下の自習室といった場所が欲しいと思いました。
- ◎生徒同士の交流が薄かった。
- ◎もっと勉強しとけばよかったです。
- ◎成績評価が甘い講義ほど、生徒が多くなるというのはどうかとおもう。
- 出席点をもっと考慮してほしかった。
- 大学の授業は自分に合った授業をきちんと選べば、すごく意義があるなと思いました。

- 授業後、教員に質問などがある場合でも次の授業のためにすぐに教室を移動しなければいけない事があり、残念だった。
- 自分が学術的に興味のあるものはもちろん、「面白そう」と思って履修した科目でも、興味深い話を聞くことができ、非常に満足している。
- 全部ではないが、いくつかの科目はとても面白かったし、とても役に立つ情報を得ることができたので良かった。
- 座学はしんどい。知識を入れるための授業ならレジュメ配ってその時限使って暗記させて最後に小テスト、それまではどこで勉強しようが自由とか、そういう形のほうが絶対時間の有効活用なんじゃないのかと。一時間寝ちゃったりすると来た意味ないよなーとか思うので。
- ◎様々な分野を学ぶことができてよかった。
- さまざまなことを研究している人がいるのだなあと感じました。
- ◎いろんなことが勉強できてよかった。
- 今まで関わることのなかったさまざまな分野の内容に少しずつ触れることができておもしろかった。
- ◎あまり得るものはなかったのかもしれませんが。

7. 8 薬学部

- ◎専門科目をもっとはやくから学習したい。
- ◎A群にあまり魅力を感じなかった。もっと好きなことを多く習いたかった。
- 受けたと思う科目があっても、その科目に履修制限があり、無作為の抽選により受けられないことがあったので、残念に思いました。教室の広さを考慮したうえで履修制限をするのは理解できますが、無作為の抽選では、本当にその科目を受けたいと思っている生徒が落選する一方、授業にあまり出席することなく、ただ単位を求めてその科目を受講するような生徒が当選するということがあると思います。事前にその科目を受講する目的などを生徒から聞いたうえで、選抜を行うことを希望します。
- ◎全学共通科目の受講だけでなく、自宅での自習によってはじめて、深い教養を身に付けることができるということ。
- ◎なかなか普段の勉強への意欲がわかない
- ◎多岐にわたる講義に触れ、学問の世界をその辺縁だけではあるが実感することができた。
- 最初は自分の様々な興味にあった授業を取り、どの授業も熱心に受けようと思っていた。しかし、実際には、学ぶ喜びを感じながら授業を熱心に受けるというより、単位を取ることに熱心になってしまったという感じが否めない。
- 自分の学部、専攻とは関係のない分野についても学ぶことが出来てとても興味深かったし、そのため将来やりたいと思えることが増えたのは良かった。一方で、特に勉強方法が指示されているわけではないため、勉強方法がよくわからず困ることもあった。

- ポケットゼミでは、高校までにはなかった少人数の授業で、先生との距離が近くて新鮮だった。
- 幅広い範囲を取り扱っている概論などの授業は様々な分野で今行われている研究の過程の話などを聞くことができ、興味深いものが多かった。
- KUINEP では留学生と交流でき、楽しかった。
- 数学、物理などでは高校での知識からすごく進んだ範囲の授業もあり、少しとまどったこともあった。
- ◎興味深いものばかりで楽しく授業を受けさせていただきました。
- ◎真面目に聞いていて面白い講義もあったが、自分にとってはつまらない講義もあった。一部の講義でただ出席のためだけに教室にいてるのはどうなのだろうかという気もした。しかし、単位をとれば結局のところそれでも良いのではないかと思った。
- 授業に出席し始める前は、まったく興味を持っていなかった分野にも、全学共通科目を受講したことによって興味を持てるようになりました。自分の専門分野は難しく感じてしまいましたが、これから頑張ろうと思います。授業によって、パワーポイントの文字の大きさや、次の画面に移るスピードが不適切で見にくいことがあったので、改善してほしいです。
- 自分の興味のあると思っていた分野以外の講義を非常に面白く感じた。興味深いと感じる分野が広がったように思う。
- 今後、どのような知識が役に立つのか計算して受講科目を決めるのもいいかもしれないが、単純にとってみようと思った科目に意外な面白さを発見できるのかとも思う。
- ◎1限が8:45開始は早い
- ◎もっとゼミ的な、コミュニケーション重視の科目を多くとりたいと思った。
- 教授がただしゃべるだけの講義は結局行かなくなるから。
- ◎全学共通科目は、思ったよりも内容が記憶に残らなかった。興味関心を引くという意味では有効だと思う。理系の学生には、もう少しA群科目を減らして、B群科目を増やした方がいいと思う。
- 新たなことに興味を持つことができ、とても良い刺激になりました。
- 大学での勉強は、高校までとは違うということを改めて認識しました。
- ◎大学生としての教養が身につける事が出来てとてもよかった。
- 高校までの授業では学べなかったことが学べた。
- さまざまな分野について学ぶことができるので面白かったと思います。
- ◎自分にもまだまだ知らないことがたくさんあったのだと感じた。

7. 9 工学部

- ◎講義のレベルが高いと感じた。しっかりとした復習が必要であると思った。
- ◎理系の自分が哲学、倫理を学ぶのに良い場が設けられたと思う。
- ◎授業に出席するのは苦痛ではないが、授業が長引いたりするのは苦痛だった。

- ◎全学共通科目は良くも悪くもピンキリ。良い講義は本当に楽しいし為にもなるが、悪い講義は酷く不毛だった。総合的にはそこそこ満足。
単位認定の評価はもうちょっと甘めにして欲しい。
- ◎部活やバイトに慣れるまで時間がかかり、あまり勉強に集中出来なかった一年だったと思う。
専門科目も増えるし、言い訳を言わずにがんばっていきたい。
- ◎自分に知らない知識が増えて、幅広い視野を持つ可能性を与えてくれたと思う。
- ◎勉強が急に難しくなった。
- 全学共通科目をA・B・C群などと分けて単位取得を促すことによって、文系が理系科目を、理系が文系科目を学ぶことができていると思います。ある程度の強制力がなければ、興味のない分野の勉強をすることは難しいと思うからです。また、それによって、新たに関心のある分野が増えました。
一方、大学の教員の方々には、もっと熱意をもって講義を行ってほしいとも思いました。さまざまな科目を受講する中で、教員によって講義回数や講義の密度に差異があるなあと感じました。
忙しいとは思いますが、やるからには真剣に学生と向き合ってほしいと思います。
- ◎特にB群科目において、学力の高い友人たちに巡り合うことができ、自分の学力のレベルを実感するとともに、自分もまたがんばろうと思うことができた。
- ◎前期では主に精神に関する全学共通科目を履修した。
自分が求めるような精神像やそのための対策についてよく学べたと感じている。
- ◎勉強不足だった。
- ◎マナー化。
- ちゃんとやれば結構なんでも面白い。
- ◎枠にはまらない様々なものが学問になるのだと感心させられた。
- ◎もっと広い分野を勉強したい。
- ◎レポートをうまく書く方法がなかなか見いだせなかった。
書き方の例を聞いてしまうとそれを依存してしまいがちになりそうだったので、慣れるのに苦労した。また、慣れた方がいいが、そのやり方があっているのかがよくわからなかった。
- ◎手の抜き方がわからず、無茶をしてしまった。
- ◎くだらない授業だとかどうとか考えていたが、わざわざ授業に意味を見いだす必要がないと思えば、そこからは気楽に授業を受けていた。なんやかんやで、般教はタメになったと思っている。
- ◎単位くれよ。
- ◎何となくとってみた授業が、受けてみたらとても興味深いものだったりしたので、いろいろな種類の科目をとってみようと思った。
- ◎専門以外の自分の興味のある話を聞いて良かった。B群に関してはもっと理解度を考慮してほしいと思った。

- ◎楽しい授業もあったけど、面白くない授業は出席するのが面倒臭くなった。
- ◎A群、興味ない講義多いし面倒くさい。
- ◎出席をしなくても取れる教科が多すぎる。楽勝科目と呼ばれているものはすべて廃止すべき。抽選の制度もやめるべき。本当にとりたい人が落とされ、抽選に通っても行かない人がいるのはおかしいと思う。あと総長が京都大学をどうしたいのかが全然分からない。
- ◎C群の英語科目の内容に不満を感じた。少なくとも自分のクラスに指定されていた授業は、高校までで培った英語の能力をさらに向上させるためになるようなものではなかった。今のところ、授業の内容や扱う教材は各教員の裁量に完全に委ねられており、指導の手腕も教員によりまちまちである。できることならば、これを学部や学科内で統一されたカリキュラムを組むように改めて、毎年改善を加えるなどして授業内容の向上を図っていくべきだと考える。現在のままでは、自分で積極的な学習を行わない限り、入学時の英語力を向上させることはおろか、維持することすらままならないのではないかとさえ感じる。
- ◎力を注いで勉強した科目から得るものは大きかった。自分から進んで文献を探し、あるいは、配布されたものを読んで、という時間に比例した気がする。他の科目については単位と成績のためにと考えて割り切ってやるしかなかったし、何を得たかといえば、よくわからない。広く浅くというよりは、表面をなでるような教養教育に何の意味があるのかよくわからなかった。加えて、単位さえあればいい、という学生が目について、京大に少し失望した。英語については、特にリーディングは、高校のほうがもう少しレベルが高かった気がする。
- ◎なににでも興味を持つことは大事。
- ◎全学共通科目で選択できる授業が豊富に存在していて、まずここで京都大学のすごさを感じました。
- ◎将来自分のしたいことが何なのか1年間でもう少し見えてくるかと思っていましたが、実際は入学当初とあまり状況は変わっていないと感じていて、不安です。2回生のうちに、自分が興味を持てる分野を見つけることができたかと思っています。
- ◎理系科目にとどまらず、様々な分野の授業を受講し知識を身につけることができてよかった。テストを乗り越えるためには、友達が大切だと思った。
- ◎なし。
- ◎勉強すればそれに値した成績がでることを信じて勉強できたと思う。
- ◎思っていたほど視野は広がらなかったが、自分がある程度興味を持っていた分野の理解は深まった。このことから、全学共通科目は教養を身に着けるための一手段に過ぎないと感じた。
- ◎おもしろい講義も多かったが、生徒の関心を引く講義とそうでない講義の差が明確だった。関心をひかない方の講義は、単位取得のための生徒間の情報戦になってしまっており、そこが残念だった。
- ◎文系・理系に関係なく楽しめる授業が多かった。
- ◎学期中、この勉強している内容は今後自分のやりたい研究に役立つのかわからなくなり、意欲を失った。

- ◎わかりにくい授業が多く、初めから自習するのと変わらないほどであるのが、少し戸惑った。
- ◎語学を学ぶ意義が見いだせない。
- ◎色々な世界があるということ。
- ◎自分自身が社会を多面的に見られるようになったと感じる。
- ◎自分の専門分野以外で興味のある分野のことを学べたことは、教養を広めることができたという点でとても意義のあることだった。しかし、大学に入ってからずっと思っていたが、教員と学生との距離が大きすぎて、レポートや試験等といった間接的なコミュニケーションしか取れていなかったことは本当に不満である。せめてA群の授業においてはどの授業においても活発な議論ができるように教員側に配慮していただきたい。
- 専門科目ではほとんど関わらないことを知る機会になった。例えば私は工学部なので、偏見・差別・人権の授業は新鮮だった。
- ◎これまで自分の知らなかった、または興味のない分野において、少しだが好奇心を持てるようになったのが、全学共通科目を1年間受講した結果だと感じている。
- ◎自分が選考しないような分野の知識も重要なのだなぁと感じました。
- ◎特にB群の科目において、講義のスピードについていくのに苦労しました。この1年で学んだことが今後専門分野に進んでいくうえで生きてくようになればと思います。少し残念だったのは履修制限があった講義の抽選にことごとく落選したことと、受講できる講義がクラス指定科目によりずいぶん制限されたこと(これらは仕方のないことではあります)で、意欲のある学生が幅広く興味のある講義を受けられるような体制を整えて頂きたいと思います。
- ◎リレー講義の科目が、いろいろな教授の研究内容をきけたので面白かったです。
- ◎願いは一つ、、衣食住。
- ◎面白いものもあればつまらないものもあった。
- ◎授業を金儲けの手段、または単なる講演としか考えてない教授は講義を開かなくていいです。
- ◎思ってたよりおもしろくなかった。
- ◎やはり、語学における興味が一番満たされた。
第二外国語としてロシア語を選べたり、A群の一般教養科目としてラテン語や、ギリシア語を学べた&学べることは京都大学の美点だと思った。
- ◎初めて知る事柄がたくさんあり、興味深かった。ただ、教員との距離が遠かった気がする。
- ◎いろいろわからないことが学べて楽しかったが、実験科目を前後期ともにとったためそれだけでだいぶ時間を取られ、ほかのことにあまり手が回らなかった。
また授業を長く延長されると、次の授業が構内の反対側だったりすると遅刻しそうになるので、できるだけ延長は短くしてほしい。
- ◎専門とは違った分野に取り組むことが多く、苦手なものもあって単位の取得は難しかった。
- ◎A群でも楽しくないと思うような内容が多かった。
- ◎A群D群科目は一度も出席せずに勉強もしないでテストに臨んでも単位がもらえるものばかりだった。ありがたいとは思ったがそれならやらなくてもいいと思った。

○単位のとりやすさよりも、その授業もしくは担当の先生が面白いかどうかのほうが意欲に関わってくると感じた。例えば、その科目自体は最初興味がなくても、面白いらしいと噂で聞くと、それだけで受けてみたくなった。

シラバスで見てもものすごく受けてみたいと思った科目がクラス指定や専門とかぶっていたときはすごく悔しかった。

◎同じ科群の同じ単位数の授業でも、その授業それぞれで単位取得の難易度が違いすぎることに不満を抱いた。例えば、工学部物理工学科のクラス指定科目（B群）の単位は取得するのが軒並み難しいのに対し、どんな学部の人でも参加しているようなB群の授業は単位を取るのが前述の科目に比べて非常に簡単である。もう少し単位の価値に公平性を持たせるべきだ。

◎同じ名前の講義でも、教員によって講義の質に大きな差が出てしまう事。

◎文系と理系で全学共通科目の選択肢の自由度に差がありすぎる。

理系では理系科目の全学共通科目がクラス指定になっているのに対し、文系では文系科目はクラス指定になっていない。

このため、興味のある科目があってもクラス指定と被っていて履修できないことがあった。時間割を見てももともと決まっているコマ数が大きく違う。これには納得がいかなかった。法学・経済学などの基礎科目は全学共通科目にもあるのだから、これを文系学部のクラス指定にすればよいのではないのでしょうか。

◎高校との違いとして、先生がかまってくれるかや、知り合いのいない講義などがあって、それに戸惑った。自分の好きな講義しか取っていないため、楽しい反面不安にもなった。

◎大学の授業を受けてみてわかったのは、高校までのように放っておいても先生が教えてくれるような受け身な態勢で講義に臨んでも駄目だということでした。自分からも積極的に講師や友達に聞いていかないと講義を理解するのは難しいということでした。

◎いわゆる学歴社会と言われる現代の世の中では京都大学在籍あるいは卒業と言えば重宝される傾向にあります。

しかしながら悲しいことに本学生の中にはそのことばかりが先行して受験をゴールのごとく錯覚してしまう者がいるように感じます。

私自身入学当初は「憧れの京都大学に入学した」という気持ちが大きくなりすぎて先のような恥ずかしい考えが少なからずあったように思います。

ですが一年間京都大学で学んでいく中で京都大学が有する強大なブランド力は教授をはじめ京都大学に属する方々、あるいは京都大学を卒業し社会に進出された方々の、大変な努力によって造り上げられた世界に名高い実績の数々があってこそそのものだと考えるようになりました。

私自身が京都大学を構成する一人であるとの自覚のもと、今後は素晴らしい活躍をなされている先輩方に負けぬよう、精進していきたいと思います。

京都大学で学べることこの上ない幸せと感じております。

◎自分の興味を増やせる。

◎結局はどの分野においてもさわりの部分しかやらないのだなと思いました。

◎専門科目に比べ眠い。

話を聞いているだけで積極的に手を動かす必要性のない科目は授業に対する意欲を失わせる。

◎自分の専門ではない分野の話がたくさん聞け、楽しかった。

◎京大生は勉強しななさすぎるのに自分のことを賢いと思いき。

◎自分の興味の範囲だけでは必要単位が揃わないのが残念だった。

◎専門にどう結び付くのがまだ見えないので不安。

◎自分の進路とは直接関係のない勉強も面白いと思った。

◎高校までとは、違う部分もあり、少し戸惑ったがやりがいも感じた。クラス指定の科目ではついていくのが大変だった科目もあった。工学部の学生なのでA群の科目は直接将来に関わりのなさそうなものもあったが、興味深いものもあり、楽しめた。

◎特になし。

◎出席ってだいじ。

◎授業についていけず、試験に間に合わせるために自分で図書館で本を借りて勉強したことがあった。その時はテストのことしか頭になかったが、努力次第ではある程度独力で物を学べるということを強く感じた。もちろん授業を受けて学ぶことは大切だが、その枠を超えて学業という枠組みがあることを感じた。

◎受けたい授業があっても専門科目と重なっていて受けられないということがあったので、複数の時間でやってほしかった。

◎不満しかない気がする。

自由な学風を売りにしている割にクラス指定科目で制約が多く、空いているコマにたまたま見つけた受講したい科目を見つけても人数制限に引っかかるし、結局ほぼ興味のない科目でA群をそろえることになってしまった。

ポケットゼミも大学側はかなりおすすめしてくれているのに、学部学科の履修要覧を見るとほとんど卒業単位に認めてくれないなど、もはや勉学意欲を失せさせようとしているのかと思った。

卒業単位に認められるものをクラス指定の制約がある中で探し、行ってみたら、シラバスの内容とは程遠いまったく興味のない授業が展開され、単位のためと我慢する前期を過ごした。僕は、工学部に所属しており、物理系の専門に進むことを考えているが、物理学基礎論を前期も後期も落としている。確かに僕の勉強不足なのだろうが、このまま2回生のさらに難解な専門科目を理解することができるのか非常に不安である。物理学基礎論の教員は、高校の物理の内容程度しか、学生がわかっていないことをまさか知らないとは思えないので、高校の物理がどの程度なのかきちんと理解しておくべきである。そして、大学の物理学へのスムーズな導入を学生ができるように教える内容を考えて講義に臨むべきだと僕は思う。

◎意欲のある人に対しては、いいように思う。

ただ、内容すら理解できていない下の層はいなくなればいいと思う。

- ◎期待していたほど面白くなく、つまらないと思うものが多かった。でも一部面白いものもあったのでそれはそれで良しとしたいけれど、やっぱり正直いってA群は物足りないと思ったものが殆どだった。なんというか知識的には良いことを言ってくれているのだろうけれど使えないものばかりで、さらに専門知識は避けるので内容が薄くなるという状態になっていてためになる科目はレアな存在だった気がしました。
- ◎どんな分野にも専門とされている先生がいて、木の枝のように広がっていく体系のようなものを感じた。
- ◎前期は本気で勉強したいような内容の科目を選択して頑張っただけで単位を取ったが、後期は時間がなかったし楽をしたかったので（私はボート部に所属しています）A群はいわゆる楽勝科目に流れてしまった。
- ◎聞いてなるほどと思いき感動することもあり、つい人に自慢したくなるような知識が得られたと思います。
ただ、前期、後期ともに授業期間前半からモチベーションは右肩下がりで、しっかり自分のものにすることができなかつたのは残念です。
- ◎習っていないことを、知っているのが当然のように進めるのはやめてほしい。
- ◎全学共通科目は今後の進路に必要な知識だけではなく、幅広い知識を学ぶこともできた。
進路には必ずしも必要でないような知識こそが、個人の個性をもたせ、人生を豊かにするものであると感じる。A群に関しては昨年度で卒業単位まで取得したが、もう少し勉強したいという思いも残っている。
- 勉強以外にも興味があるので、今はあまり勉強してない。しかし、二回生になってより専門的なことを習うようになったら、自分のやりたいことが明確に決まって、勉強にも熱が入るのではないかと思う。
- ◎知識が多い人や多くの視点から考えることができる人が多く、いい刺激となった。
- ◎よかった。
- ◎たくさんありすぎて探すのが大変だった。シラバスを見るだけでは取りたい授業かどうかわからない。最初の一回くらいは、お試し期間として成績とは関係ない授業をしてほしい。
授業をうけて、最終的にどうなることが目標かをはっきりさせてほしいと思った。（例えば、国際法についての基礎知識をつける、とか、日本史の面白さを伝え興味をもってもらおう、など）なぜなら、授業の方向性がはっきりするからと、生徒も授業を選びやすくなるからだ。
- ◎幅広い分野の話を目にするのができて自分の世界観が広がったと思う。
- ◎もっと勉強するべきだった。
- クラス指定科目は今後役に立ちそうなものが多くてよかった。
- ◎面白い教科もあれば退屈に思える教科もあったが、シラバスを読む限りでは、そこまでは分からないので、取って受けてみるしかないのが少し残念だと思う。シラバスをもう少し詳しくして、取る前から授業展開が分かるようなものにして欲しい。
- ◎だいたい想像通りだった。全学共通のB群を理系でも自由に取れるようにして欲しい。

- ◎全体的に詰め込み過ぎという印象を受けました。CAP 制度のように、1 週間あたりに配当される科目数を減らして、その分密度の濃い授業を展開した方が、より充実した学習につながるのではないかと思います。
- ◎不熱心な教員・学生の割合が高く、非常に残念でした。
卒業のための必要な単位を集めるという方針の学生が多い。
- ◎特になし。
- ◎自分の専門科目ばかり学習しては視野が狭くなってしまいがちであるが、自分の興味・関心のある授業を自ら選ぶことのできるこのシステムのおかげで、意欲的に幅広い知識を身に着けることができていると思う。しかし、せっかく興味があっても抽選に落ちて履修できないということが多々あったので、その辺を改善してほしいと思った。
- ◎高校などでは学ぶ機会が少ない内容を勉強することができてよかった。
- ◎魅力的な科目は多々あったが、目の前の娯楽に逃げてしまった自分が悔しいし、残念だ。
- ◎出席点重視の科目を増やしてほしい。せっかく全授業に出たのに、テストの成績が悪いゆえに単位が来ないのは納得がいかない。
- ◎工学部のB群が指定されすぎている。
- ◎様々な分野の授業をとっておけばよかったという思いがあります。
- ◎いろいろ受けれて楽しかった。
- ◎幅広い教養を身につけようという思いや、専門科目を学ぶにあたっての助けとなるため確実に理解しようという意志を持って全学共通科目の受講に臨んだが、必ずしも自分が考えていたようにはいかず苦労した。特にB群科目の理解に関しては自身の理解力が及ばなかったり、あからさまに適切な授業をする講師がいたりしたため、当初考えていたものとは離れたものとなった。
- ◎やるいみあんの？
- ◎出席がいらぬということを知ってさぼってしまったので少し後悔しています。
- ◎思っていたよりは勉強と向き合うことができなかった。
- ◎2回生になって専門の科目がだんだんと増えてきましたが、1回生のときに主にクラス指定のB群で学んだ事柄がよく出てきます。それまでに全く触れたことがない内容なら少し戸惑ってしまうでしょうが、少しでも触れたことがあると多少とつきやすくなります。
また、私が1回生で履修したA群は興味深いものが多く、いろいろな分野について本格的に学ぶことができる環境に感謝しました。
- ◎A群の講義は、単位の取りやすさを重視しつつも自分の興味のある内容を扱うものを選んだので、比較的楽しみながら受講できたし、また、専門外の知識もある程度は深まりました。一方で、完全に単位の取りやすさのみを考え受講し、ただ単位を取得しただけの講義に関しては、もったいないことをしたと感じています。BC群に関しては、クラスの雰囲気がとてもよく、講義の内容も楽しかったので大満足です。
- ◎自分が将来何をやりたいかがはっきりすると思っていたがしなかった。

- ◎一年間を通してあまり勉強する気にならなかった。それは、受験勉強の燃え尽き症候群からかもしれないが、勉強しなくても単位が取れるという事実も原因の一つと考えられる。
- ◎よく工夫され、熱心に授業をしてくださる先生がいる一方で、そうでない先生もいて、その差が激しかった。
- 自分の専門以外の科目が面白かった。
- ◎物理学実験は担当者の違いで成績が大きく変わるので基準をあわせてほしかった。
- ◎授業も受け身では、あまり何も身に付かない。
- ◎京大の「自由の学風」は「古き良き時代のもの」であり、今や存在しないのだと分かった。自由になるためには、ひたすら勉強してある程度の成績が必要となることを理解した。
- ◎これらの科目（特にA群）を通して、自分の知らない分野の知識を得たり、それらについて考えたりすることができたのがよかった。
- レポートがうまく書けなかったのが悩み。言葉が全然出てこない。
- ◎自分の好きな専門分野はもちろん面白いが、一般教養としての授業は、自分のこれからの人生の価値観に大きな影響を与えてくれたと思う。大学に入学し、なにもかもが新しい環境で、このような授業を学べてよかったと感じた。
- ◎抽選って言う方法で、結局本当に興味がある科目が履修できない場合が多すぎる。何とかできるかな～。
- ◎ジャーナリズムの最前線での講義で思ったことですが、企業の方を招いての授業は実体験に基づいていて面白かったです。
- ◎A群科目でもっと教養が広がると思っていたが、あまり工夫のない授業が多くただらと聞くような感じになってしまった。もっと興味を引くような面白いこと、ためになること、あまり知られていない重要なこと、などを意識的に扱って欲しかった。
- ◎教授は、授業に興味がない。一方で、学生も学習の意欲に欠ける。授業や講義は、学生が主体的に学ぶ為の入り口として振る舞うべきであり、無理に教えようとして、出席をとったり、厳しく教えようとするべきものではない。
- ◎専門以外の知識を得ることが出来、良かったと思っている。
- ◎興味深い授業はためになったが、あまり興味のない科目で工夫が感じられない授業は頭に入らなかった。
- B群科目は将来の自分の研究分野に全く関係のなさそうな内容の授業もあって、授業を受ける意味が分からなくなったこともあった。一回生の英語の授業も自分で担当教員を選べるようにすればよいと思う。自分の受けたい授業を受けてスキルアップを目指したいと思った。わたしの一回生の writing はあまりスキルアップできた感じがしなかった。
- ◎思っていた以上に難しい部分もあり、苦労したりもしたが、受験勉強とは違って極度のストレス状態で勉強する必要もなくなったので、気分よく勉強できたと思う。教養を身に付けるには授業だけでなく、自分で積極的に学んでいかなければならないと感じた。

- ◎もっとやっとならばよかった。
- ◎高校での勉強にくらべて特にB群が格段に難しくなっていると感じた。
- ◎勉強難しい。まあ自分がしっかり勉強しないのが原因やけど。
- ◎単位を取るための勉強になりがちだった。自分は本当にこの学部で何をしたいのかが見えず、
当惑している。
- ◎単位は降ってこない。
- ◎工学部はあまり選ぶ余地がなかった、特にB群。
- ◎自分のやりたい研究に必要な学問の基礎を学べた気がしました。高校までの勉強と大学から
の勉強の違いを感じました。気軽に質問に行けないことが多いので、自分で調べて自分で学
ぶ習慣ができました。
- ◎幅広い知識が必要だと思った。
- 数学が思った以上に難しかった。
- ◎様々な知識を身につけることができ、非常にためになった。
- ◎履修制限のため取りたい科目が取れなかった。
- ◎個人で勉強を継続する難しさ、またその大切さ。
- ◎専門教育に移る前の教養課程として十分な質と量を持った全学教育共通科目に満足している。
- 自分の一年間に対しては、スタートダッシュでつまづいた印象を受けるので、新入生に対す
るガイダンスで講義についてのもっと踏み込んだ説明があるといいと思った。(単に規定上
の話だけではなく) また、初めての一人暮らしで金銭面や治安面での不安があり、自分のや
りたいことをやりきれなかったと思う。
- ◎眠い。
- ◎面白い科目は良かったが、そうでないもので単位落とすと受けた意味があったのか疑問に感
じる。
- ◎京大らしさを感じた。
- ◎高校では得られないような知識ばかりで非常に興味深かった。特にA群。
- ◎もっと楽しい内容のものにしてほしい。
- ◎自分がクズだってことくらいです。
- ◎今まで学習する機会がなかった科目を受講したが、全く興味を持ってないことがしばしばあった。
- 自分の専門以外で興味のあることを勉強できるのが楽しかった。
- クラススだけでは自分が学びたいことを教えてくれるのかどうかの判断が付きにくかった。
- ◎色々な分野の教授のお話を聞くことができ非常に勉強になりました。
- ◎特にA群の授業で、講義名に「基礎」とか「入門」とか「概論」とか書いてあるくせに、予
備知識のない僕らにガンガン専門的な知識を押し付けられて、理解に苦しんだ。
- ◎どうしても卒業に必要な単位を考慮してしまい、群の関係で必ずしも自分の興味のあるもの
を選べたわけではなかったが、その分自分のそれほど興味のない授業を受け教養を広げるき
っかけにもなったと思う。

- ◎もう少し興味を持とうという姿勢が必要だったかもしれない。
- ◎般教は自分で本を読んだほうがよほど勉強になるような授業が多かった。成績は出席より自分で勉強したことについての評価を重んじてほしい。
- ◎特になし。
- ◎A群の授業に出るのが苦痛ではない。
- ◎専門以外の教養を身につけることができよかつたと思う。
- ◎どのように勉強をすればよいのか分からなかつた。
- ◎限られた時間内で自分の出来ることが、あまりに些少だということを感じた。言うほど熱心に取り組んだわけではないけれど。
- ◎強制的に受けないといけない科目が多いため、自分の意思で授業のタイミングや取りたい科目が取れなかつたのが残念でした。
- ◎役に立つ科目が少ないと感じた。
- ◎せつかく幅広い分野の科目を受けることができるんだから、もっと、学生の素養や人間性を育てるような授業をしてほしいです。
- ◎大学の講義のつまらなさに驚愕した。自分が熱意をもたないとやっていけないなあとと思った。
- ◎なんでも自分で勉強することが大事。
- ◎大学での勉強への取り組み方を体験し、自主的に学ばなければならないと感じた。
- ◎自分は理系であるが、全学共通科目は文系科目を多く受講していたので、色んな分野の研究があるのだと興味を少しだけ抱いた。
- ◎大きな教室での講義は、人が多いため、室温があがりやすいのに、あまり対応しないので、前期はすごしづらい。
- ◎全学共通科目は教養を高められるのと何より楽なものが多いので、気軽に受けることができよつた。その意味では授業が楽しみに感じた。
般教のいろいろな分野の授業はかなり専門的でない限り聞いていて楽しめるいいものだと思う。般教では広く浅い授業が一番合っていたと思う。
- ◎全学なので幅広く学習できればよつたと思つていましたが、あまり記憶に残らない授業が多かつた気がします。
- ◎知らない分野の勉強が出来て良かつた。
- ◎特になし。
- ◎自分が大学生になつた気がしない。工学部は、B群の選択の幅を広げて欲しい。
- ◎自分の専攻の分野以外の知識をたくさん身につけることができ、非常に有益だつたと思つた。
- ◎学部指定とは関係のない分野や自分の興味のある分野を勉強でき、大学ならではの面白さを感じた。
- ◎予備知識がなさすぎて授業についていけず鬱になつた。
- ◎高校までとは全く違ふ、哲学的なことに踏み込んでいく授業が興味深かつた。
- ◎自分の常識の無さを感じた。

◎高校までと全く違って戸惑った。

- ・指定の教科書（それまでは勉強のベースにしていた）が分かりにくい
- ・テストでどんな問題が出るかわからない（的外れな勉強）
- ・レポートというものには書き慣れてない（今でも適当）
- ・前期コマ入れすぎた
- ・後期は少し要領つかんで単位を思うようにとれた
- ・先生が楽しそうに話すのは大体おもしろい
- ・友達がいないと損するは本当

◎少し興味がある程度の授業を取って、それがあまりおもしろくなかった場合、どんどんやる気を失っていくので、きちんと選んで取るべきだと思った。

◎B群科目は専門の基礎となるので必要性を感じたが、A群科目の多くはいらなないと思った。正直に言えば、単位を取得するためだけに講義を聴いていたA群科目は多い。もちろん、中には教養を深めてくれる良い授業もあったが、それを除いたA群（A群の大部分）は正直に言えば意味がなかったと思う。教師も熱意が感じられない人が多く、授業も単調で味気ないものだった。A群科目の単位取得を強制させるのは無意味ではないかと思う。実際、容易く単位を取得できるA群科目もあり、単位取得が目的と化した無意味なA群科目がいくつもあった。教養をつけるのが目的なら、自分で本を読んでいたほうが遥かに良かった。

◎総合的な教養が身につけられたと思った。

◎（全学共通科目に限った話ではないが、）入学当初に強く感じたのは大学の先生って親切ではないんだな、ということだった。もちろん全員がそうというわけではないが、高校までの先生とは違って、あまり「教えよう」という気を持って授業をしているわけではないな、と思った。教員も自身の研究で忙しいというのもあるし、学生の側もちゃんと勉強しているかといわれると疑問だろう。学生が主体的に学ぶためには逆にあまり親切すぎてもいけない、とは思いますが、個人的には少し寂しい気もする。

◎自分の興味のない科目でも、単位のためにとらなければならないことがあるので、それがすこし辛かったです。あと、講義形式で淡々と教授が話をするだけの授業はあまりおもしろくありませんでした。

◎授業は興味深いものもあったが自分のやりたいことを見つけるには至らなかった。

○特にA群において、ほとんど心に残るものがなかった。

◎自分の興味のあることだけでなく、様々な分野の幅広い知識や情報を得ることが出来、十分満足した。

◎興味のある分野は楽しく授業を受けることができたが、そうでもない授業は出る気になりませんでした。

◎特にB群の授業において、教員の話聞きながらノートをとるよりも、教科書をあとでじっくり読んだ方がわかりやすく、結局テスト勉強を教科書のみを頼りにして勉強した。もっと授業内容を参考にできるものにしてほしい。

- ◎大学の全学共通科目は出席状況にかかわらず、期末テスト一発で決まることが多い。そのためテストには十分授業内容を復習したうえで、臨む必要がある。大学1年目ではまだ高校の成績評価方法が頭に残っているので、大学とのギャップに戸惑う新生生は多いと思う。たとえば、大学では半年分の授業内容を一気にテストするので範囲も高校の比ではないほど広いし、そもそも授業内容が大学レベルなのだから理解にも時間がかかる。それでもテストは時間通りやってきて、範囲の多さにあたふたしたままテストを受けて単位を落としてしまう。高校とは違って追試などの救済措置も原則ないので大変。落としてしまうと次のセメスターが終わるまで単位を手にすることはできないので、本当に期末の頑張りが重要だと痛感した。
- ◎なるべく自分の興味のある科目を選択して選んだが、結果的にその興味にしっかりとマッチしたものはなかったことなど
- ◎工学部の学生として、特にA群の共通科目をどこまで突き詰めるかについてはずっと考えていた。どんな分野であろうと多かれ少なかれ面白さは見えたはずだが、卒業のための単位取得と割り切る人が多かったため、自らも流されてしまっただけで能動的に学習できなかった部分は少し悔やんでいる。

7. 10 農学部

- ◎教員が生徒の理解度と関係なくどんどん授業を進めるのが気になった。しかし、生徒によつて理解度の差も非常に大きく対応するのは至難に思えた。
- ◎いろんな分野の興味ある話が聴け、大変に有意義であったと考えます。
- 数学等で自宅学習では理解することができず、教員に聞いても意思の疎通ができず聞きたいことに答えてもらえない、ということがあったことと、レポート等、一番よくできる人の回答をクラス全員の水準だと判断されてしまったことが、負担でした。数学が得意なひとのレポートを写して提出するわたしたちも悪いのだとは思いますが。
環境でいうと、周囲の人が眠り始めるとつられて眠くなるのも困ります。プロジェクターのために照明が暗くなるのがつらいです。
4共での大人数講義等、空気が悪すぎてひどく気分が悪くなり、帰ったことがあります。4共の環境改善をお願いしたいです。
また、後期のNF前ぎりぎりまで授業があるのはどうかと思います。授業に出る意欲がなくなるのは、NF前で準備をしたいからです。1週間とはいわずとも2日前くらいからは休みにしてほしいです。
一方で、日常における問題について検討し研究するという大学らしい授業内容の講義を受けられたことは、とても楽しかったです。
- ◎理科を勉強するためには物理・化学・生物・地学の全ての知識が必要だということを感じた。
- 全学共通科目ではもっと幅広い教養が身に付けられると思っていたが、実際は内容が専門的なものが多くて知識を学びとりにくかった。

- 自分の興味ある科目を比較的自由に勉強できる事はとても嬉しいと感じた。
- ◎専門的知見の活用に、幅広い専門外知見の活用は不可欠だと思った。
- 高校まででは触れることもなかったような分野について、そのほんの入り口程度までではあるけれども、学ぶことができて自分の世界が広がったと思う。
- ◎語学科目では同じ科目名でも先生によってかなり成績の付け方に差があるように感じた。
- 単位をそろえるだけの道具になってしまったような科目も多かったので残念だった。もっと挙げられている参考図書を読むなど勉強すべきだった。
- ・自分の知っていることはごくわずかであること
 - ・自分の知らない、もっと面白いことやむずかしいことが山ほどあるということ
- 小・中・高校時代に受けた授業と違って、毎日の学習内容が新鮮でとても興味深かった。
- 世の中には色々なことを研究している人がいるんだなあと思いました。
- ◎関心のある学問分野に関しては、自ら積極的に先生方にアプローチする姿勢が大事だと思った。
- ◎面白い授業もあれば、つまらない授業もある。
 - 良くも悪くも、大学の授業ってこういうものなんだなあと悟った。
- ◎「こんな授業なら出なくていいや！教科書は図書館の本を読んでもの方が楽し理解も早い！」と感じた授業がたくさんありました。先生方もお忙しいのだと思いますし、個人的にお話するとおもしろい方がたくさんいらっしゃいますが、授業になると眠い。

解決策

1. 出席を取らない。テストまたはレポートで評価する。その代り評価基準をもっと高くする。
 2. 先生に向けて授業運営指導をより強く行う。
 3. 授業を評価するチームをつくる
 4. 学生の満足度（もちろん単位がとりやすいかどうかではなく授業内容）を研究費と対応させる。（教育をしっかりと行っている科は研究費も上げる）（比較するときにはできるだけ近い分野同士で比べる。たとえば社会学と動物自然史では比較できない）
 5. 授業がうまく行えるかどうかをポストに就くかどうかの基準のひとつにする
- 自分が専門にしようと思っている分野とは全くかけ離れたことを学ぶことができたのは自分にとってかなりプラスだったように思います。視野が広がり、考え方が深まりました。
 - やはり、自分の専門の内容と近い内容を扱っている授業は興味深かった。
 - しかし、自分の専門の内容とはかなり違う内容（例えば、哲学）を扱った授業は、理解するのがなかなか大変だった。
 - A群よりB群の方が興味をひかれるものが多かった。
 - 前後期共に実験の授業をとっていたが、実際に手を動かしたり、測量しに行ったりしたので、大変だったが非常に印象に残っている。良い経験ができたと感じた。
 - ◎興味がないものに対して真剣に打ち込めなくなったことに驚きと自分への失望を感じた。受験生時代との違いに自分でも戸惑っている。

- ◎霊長類学や自己複製子等に触れて、生物の誕生についての視野が広がった。
- 全くその分野に関する知識のない学生でも楽しめる入門となるような講義が実際には少ないと思った。
- 知識が増えた気がするが、自ら望まない勉強しない環境にあると思った。
- ◎4共で行われるものは、おそらく大学側もわかっているのだろうが、授業がつまらなく、採点が甘いという理由で学生が殺到し環境が悪く、多くの授業で幻滅して勉強意欲を失った。内容に関係なく、たとえ多くの宿題をこなす必要があっても、世界の京大としての教員の熱意が感じられる授業であれば、まだ何も知らない僕達学生は間違いなく感動しその分野に興味をもつと思う。
- ◎京都大学では幅広い分野の授業を受けることが出来、人によって全学共通科目の活用法は様々だとは思いますが、僕は大学入学までで培えなかった知識や、苦手分野の克服、常識力を身につける事が出来ました。
- ◎スライドで授業を進める先生の授業はノートの取り方などが難しかった。できたら授業後などにスライドをクラスなどにアップしてほしかった。
- 前期のポケットゼミで行った研究は、今なお続けており、これからの自分の進路に非常に影響を与えうる経験となった。
- ◎本当にその授業を履修したい人が履修制限抽選で落ちて、楽に単位をとりたくてその授業を履修したい人が当選するのはおかしいって友達が嘆いていました。
- ◎自分で主体的に学ばなければ力にならない。
- ◎全体的に期待外れである。微分積分学の講義は黙々とわけのわからない板書を写すだけで退屈だし理解できないしで、最後には出席しなくなった。教員が熱意を持っていたり、学生の理解度を考慮したりしてくれなければ、学生は授業へのやる気を失うものだと思う。とくに微分積分学や線形代数学などの、理系ではほぼ必修となるような科目の教員はしっかりしてほしいと感じる。
個人的に面白いな、と感じた教科はたいがい、教員の熱意を感じたし、何より話が上手いな、という印象を持った。人の前に立って話をするものとして、話術の向上を教員の方々には試みていただきたい。
- ◎高校まで勉強してきたことが、完全に覆される経験をし、とても関心を持つことができました。
- ◎単位をとるためには少し息苦しい授業の受け方をしなければなりません。しかし1回生で一般教養をそろえておいたので、2回生は単位をとるための授業ではなく、自分の好きな授業を自分のために授業を受けられることが楽しみです。
- ◎成績評価の甘すぎる科目と厳しすぎる科目が混在しており、学習への取り組みに大きな差ができてしまった。
- 時間割を作成する時期にはやる気に満ち溢れているのに、だんだんと授業が面倒になっていく…ということが多かった気がする。講義から何かを得るという努力をもっと自分からしていきたかった。

- 自分の知識の少なさと視野の狭さ。
- 講義で研究の基礎となる知識を学び、それが実験や実習で生かされることを知り、学ぶ楽しさを改めて実感しました。
- ◎興味の湧いたことに、勝手に、マイペースに取り組みよかった。
- 京都大学の自由の学風にあっという間ではないかと思った。(出たい授業や興味がそそられる授業は積極的に参加できるという点で)
全学共通科目には自分の知らない異分野のことについて学ぶことや、一般的な知識・考え方を身に付けられるのではないかということ期待していたが、ある程度達成されたと思う。
- ためになることも多く役に立ちました。
- 幅広い分野の知識が得られ良かった。
- ◎様々な学問の入口を見ることができたことは良い刺激になったと思う。
- ◎1コマの授業時間が長く、説明がダラダラしているため、学習意欲と集中力が低下した。もっと効率の良い学習をしたい。
- ◎抽選に不満がある。
- 自分の専門外の分野を学べるのは今しかないので、文系の科目でも興味を持って受講できた。どの講義も無駄になるものはなかったと思う。ただ、全学共通なのにあまりに専門に特化しすぎるのはどうかと思った。
- ◎とにかく教員と直に話せることが少ない。ゼミ形式ではないので仕方ないが、深く話をしたい。
- 世の中には本当にさまざまな研究があって、それぞれがかなり深い学問なのだと思います。時には、鬱になりそうなくらい考察していて辛い学問もありましたが、私の人生に深みを与えてくれたような気がします。
- ◎期末試験のみで単位が決まる科目には不満がある。それでも、その評価方法自体は受け入れることができるが、まじめに授業を受けていても、それが試験問題にあまり反映されていない、あるいは難しすぎて、授業を受けようが受けまいが、過去問を入手できるか否かがそのまま単位の有無につながるような科目はなくすべきだと思う。
- ◎おもしろいと思えるような授業はなかった。シラバスを見ても授業中に教授の自慢話しか聞けないだろうなと思ってしまう。とにかく、内容が固すぎる。
- ◎専門科目以外の科目についての知識を得ることができたことは良い経験となったと思う。
- ◎楽勝科目は受けるべきではないと思った。
- ◎個々の学生のレベルに合わせた授業があればよかった。
- ◎知らない世界を知ることができた。こんな学問があるのかと。
- ◎最初は興味を持って授業に出ていても気づけば結局単位を追い求めてしまっている。
- ◎有意義なものが多く、全体として満足している。
- ◎サークル活動・海外留学をしたいと思うがその実現はできない。
- ◎もっと化学を様々な視点から学びたい。基礎○○化学という形でなく、一つの分野、テーマに絞って、複合的な内容があってもいいと思う。

◎特になし。

○power point いいけど、テストやらせる科目は、板書にしてほしい。

◎心理学など、思わぬ分野の授業が刺激的で驚いた。

○全学共通科目では、ためになることや、興味深いことを多く学びました。全学共通科目に関する新たな発見に、感動したことも多々あります。

◎のんびりしていてよかった。

○いくつかの講義を受講する中で、自分が興味のあるもので選んでいくと内容がどうしても似ていたりすることがありました。これからは、自分が今まで触れて来なかった科目も受講していけたらと思いました。

◎教員の自己満足が多い。

◎先生次第で授業は変わるのだと思った。

○面白い授業も結構あった。先生のやる気がない授業も多かった。

◎同じ科目でも講師によって単位のとり易さが全く異なることを改善してほしい。

◎大学で学ぶことはそう容易くないとは思っていましたが、あまりに放任されたり、学生のことが考慮されてない講義がいくつかありました。

一方で、京大の範囲を超えたこれまでとは全く違う世界に触れることのできる講義もあり、非常にありがたいものでもありました。

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A (満足した科目)

あなたが特に満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください（AB群など複数群科目の場合、例えばAとして履修登録した場合はAを選択してください）。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他 (自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください（AB群など複数群科目の場合、例えばAとして履修登録した場合はAを選択してください）。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他 (自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

7 対象学生 8 対象回生 9 その他（自由記述）

◆上記のうち、最も重視する項目を選んでください（1～9から選択）（ ）

問9 履修したい科目を探す際、該当科目がすぐに見つけられたかについてお尋ねします。

A. 次の項目について、それぞれの項目をみて授業内容が容易に、判断できましたか。

	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
(1) 群・系列名をみれば、判断できた	1	2	3	4
(2) 科目名をみれば、判断できた	1	2	3	4

B. 上記の項目について、改善点や要望等があれば、ご自由にお書き下さい。（自由記述）

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



平成24年度
2回生進級時アンケート

平成24年9月 発行

編集 京都大学高等教育研究開発推進機構

発行 京都大学学務部共通教育推進課
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Tel 075-753-6513
